

平成 26 年度

事業報告書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

平成 26 年度事業報告

目 次

一	平成 26 年度事業報告	1
二	事業経営	7
1	保育支援系福祉サービスの経営	7
2	高齢者支援系福祉サービスの経営	24
3	障害者支援系福祉サービスの経営	62
4	児童・女性支援系福祉サービスの経営	79
5	医療事業の経営	93
6	収益事業の経営	96
三	職員福利厚生制度	97
四	理事会及び評議員会	98
五	施設長会議及び各種委員会	102
六	事務局主要業務	125

一 平成 26 年度事業報告

平成 26 年度の日本経済は、緩やかな景気回復基調となりましたが、消費税増税後の影響などから個人消費の回復の動きは鈍く、今後景気動向を左右する要因も多く、先行き不透明な状況が続いています。

国においては、社会福祉法人制度の在り方が議論されました。また、介護、子ども・子育ての各分野で改革の内容が示され、特に介護については総額で 2.27%の介護報酬減額となるなど、事業者にとって厳しい内容となりました。

当法人においては、引き続き利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保及び育成に努めました。

まず、施設運営については、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進いたしました。

老朽化した施設の更新については、大山保育園の改築工事が竣工し、立川福祉作業所も計画通り本体工事着工となりました。

また新規の施設として、昭島市の(仮称)拝島駅前保育園においても計画通り建設に向けた工事が進んでいます。

次に、人材の確保・育成については、26 年度も新規学卒者の計画的な採用を進めるとともに、新規職員から施設長まで階層別に法人研修を実施したほか、各支援系グループにおいても分野別の研修を行い、職員の資質向上に繋げました。

最後に昭島病院ですが、入院、外来ともに患者数が減り、厳しい財政運営の結果、今年度は赤字決算となりました。そうした中でも、地域医療連携の拡充や救急医療の積極的受け入れなど地域の中核病院の役割を担って参りました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

平成26年度 施設利用状況報告

平成27年3月31日現在

グループ名	種 別	施設名	利 用 状 況								備 考
			定 員	(3 月 利用者 実績数)	利 1 用 者 数 均	年 間 利 用 者 数	年 間 実 施 延 日 数	(年 間 利 用 率) (2 6 年 度)	(年 間 利 用 率) (2 5 年 度)	年 間 利 用 率 前 年 対 比	
保 育 支 援 系	保 育 所	むさしの保育園	169	175	176.3	51,645	293	104.3%	100.0%	4.3%	
		本園	140	147	147.5	43,223	293	105.4%	99.9%	5.5%	
		方南分園	29	28	28.7	8,422	293	99.1%	100.0%	-0.9%	
		昭和郷保育園	100	117	115.7	33,909	293	115.7%	115.2%	0.5%	
		大山保育園	122	125	123.7	36,242	293	101.4%	102.6%	-1.2%	
		昭和郷第二保育園	190	205	202.3	59,273	293	106.5%	101.8%	4.7%	
		みなと保育園	70	72	70.6	20,681	293	100.8%	103.4%	-2.6%	
		同援みどり保育園	125	130	129.7	38,014	293	103.8%	104.3%	-0.5%	
		つつじが丘保育園	110	132	131.6	38,550	293	119.6%	120.3%	-0.7%	
		同援さくら保育園	108	121	121.9	35,721	293	112.9%	112.0%	0.9%	
	保育施設計		994	1,077	1,071.8	314,035	—	107.8%	106.5%	1.3%	
高 齢 者 支 援 系	養護老人ホーム	万世敬老園	200	195	198.6	72,484	365	99.3%	100.5%	-1.2%	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%	
		ライトホーム	50	35	36.3	13,264	365	72.7%	67.8%	4.9%	
	救護施設	昭島荘	100	97	99.0	36,117	365	99.0%	100.1%	-1.1%	
	小 計		400	377	383.9	140,115	—	96.0%	96.2%	-0.2%	
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	102.3	98.7	36,033	365	94.9%	94.2%	0.7%	
		ニューフジホーム	104	96.7	97.1	35,438	365	93.4%	95.5%	-2.1%	
		原町ホーム	52	51.9	51.5	18,812	365	99.1%	99.9%	-0.8%	
		ゆたか苑	54	53.6	52.2	19,036	365	96.6%	97.1%	-0.5%	
		ひかり苑	54	55.5	53.7	19,599	365	99.4%	98.4%	1.0%	
	小 計		368	360.0	353.2	128,918	—	96.0%	96.4%	-0.4%	
	認知症対応型老人 共同生活援助事業 (グループホーム)	かえで	9	9	8.2	2,981	365	90.7%	91.7%	-1.0%	
		原町グループホーム	18	18	17.6	6,438	365	98.0%	87.0%	11.0%	
	老人 デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	16	16.9	5,191	307	67.6%	72.1%	-4.5%	
		フジ・デイホーム	10	7	6.8	2,079	307	67.7%	72.9%	-5.2%	
		原町デイサービスセンター	12	7	7.2	2,199	307	59.7%	47.8%	11.9%	
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	10	7.8	2,398	307	65.1%	71.6%	-6.5%	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	882	40.9	12,568件	307	—	(12,647件)	(-2.2%)	
		昭島市中部地域包括支援センター	—	871	42.0	12,310件	293	—	(10,272件)	(19.8%)	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	—	84	4.2	1,013	244	—	(1,162)	(-12.8%)	
		原町ホーム	—	82	3.1	913	295	—	(655)	(39.4%)	
		ゆたか苑	—	87	4.2	1,030	244	—	(993)	(3.7%)	
		ひかり苑	—	32	1.6	381	242	—	(336)	(13.4%)	
	小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能型 居宅介護センター	25	19	15.7	5,743	365	62.9%	41.3%	21.6%	
	小 計		111	370	93.2	30,366	—	—	—	—	
	公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	
		介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高齢者施設計		879	1,107	830.3	299,399	—	93.3%	94.6%	-1.3%	

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

グループ 名	種 別	施設名		利 用 状 況									備 考
				定員	(3月利用者 実績数)	利1用者 数平均	年間 利用者 数	年間 実施 延日数	(26年度) 年間 利用率	(25年度) 年間 利用率	年間 対比 利用率		
障 害 者 支 援 系	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	100	96.0	88.0	32,102	365	91.6%	90.4%	1.2%	
	障害福祉サービス (通所)	さやま園	生活介護	(96)		90.5	89.4	24,044	269	93.1%	91.1%	2.0%	
			短期入所	4	—	1.1	392	365	26.8%	38.5%	-11.7%		
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	31.3	32.3	7,849	243	80.8%	80.0%	0.8%	
			就労継続支援B	30		29.7	29.2	7,100	243	97.4%	90.2%	7.2%	
		立川福祉作業所	生活介護	30	75	25.1	25.8	6,936	269	85.9%	78.8%	7.1%	
			就労継続支援B	35		34.3	33.2	8,921	269	94.8%	90.0%	4.8%	
			就労移行支援	10		9.7	9.3	2,490	269	92.6%	93.6%	-1.0%	
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	27.2	27.5	6,700	244	91.5%	90.7%	0.8%	
			就労継続支援B	10		10.7	11.3	2,755	244	112.9%	101.8%	11.1%	
			短期入所			2	—	0.7	249	365	34.1%	36.4%	-2.3%
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ		—	253	6.8	2,467	365	—	(2,690)	(-8.3%)		
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター		—	868	29.4	10,717	365	—	(9,508)	(12.7%)		
	共同生活援助事業 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	98.6%	1.4%		
		グリーンハイツ		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		フレンズ・モエ		5	5	5.0	1,611	365	100.0%	92.9%	7.1%	11月～ 定員変更	
		バル		6	6	5.7	2,095	365	95.7%	94.6%	1.1%		
		それいゆ小川		7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		ファーム竹丘1		6	6	5.6	2,054	365	93.8%	100.0%	-6.2%		
		ファーム竹丘2		7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		レジオンス巣鴨		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		はなみずき		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		ユーカリ		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		夢オハナ		6	6	5.9	2,160	365	98.6%	99.8%	-1.2%		
		結オハナ		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		障害者施設計			354	1,543	450.0	136,702	—	92.0%	90.0%	2.0%	
児 童 ・ 女 性 支 援 系		母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	16	18.4	6,716	365	92.0%	97.1%	-5.1%	
	緊急一時保護事業			1	—	0.6	203	365	55.6%	31.0%	24.6%		
	サンライズ青山			20	10	12.9	4,717	365	64.6%	88.6%	-24.0%		
	緊急一時保護事業			1	—	0.1	50	365	13.7%	31.2%	-17.5%		
	サンライズ万世			20	20	19.2	6,997	365	95.8%	91.0%	4.8%		
	緊急一時保護事業			2	—	0.1	28	365	3.8%	11.9%	-8.1%		
	児童養護施設	双葉園		50	49	48.1	17,569	365	96.3%	97.5%	-1.2%		
		(地域小規模)	双葉園	(38)	(36)	36.4	13,286	365	95.8%	96.7%	-0.9%		
		(地域小規模)	高嶋の家	(6)	(6)	6.0	2,174	365	99.3%	100.0%	-0.7%		
			くすのき	(6)	(6)	5.8	2,109	365	96.3%	100.0%	-3.7%		
			昭島市子どもワイルドステイ事業	2	34	—	268	365	—	—	—		
	婦人保護施設	いこいの家		40	13	8.9	3,252	365	22.3%	52.9%	-30.6%		
	児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと		—	6,629	195.6	64,732	331	—	(65,806)	(-6.6%)		
	放課後児童健全育成事業	つつじが丘北学童クラブ		50	25	27.9	8,187	293	55.9%	54.0%	1.9%		
	児童・女性施設計			206	6,762	331.8	112,451	—	71.7%	83.5%	-11.8%		
	施設合計			2,433	10,488	2,683.9	862,587	—	96.2%	96.0%	0.2%		
医 療	病 院	昭島病院		199	10,981	606.0	—	365	—	—	—		
		入院		199	4,136	138.0	—	365	69.3%	72.3%	-3.0%		
		外来		—	6,845	468.0	—	281	—	—	—		
		訪問看護ステーション		—	—	13.0	3,425	263	—	—	—		
収 益	印 刷	事業局		—	—	—	—	—	—	—	—		
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業		—	—	—	—	—	—	—	—		
合 計 (福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業29)			2,632	21,469	3,289.9	866,012	—	—	—	—	—		

平成26年度 職員配置状況報告(職員実人員数)

グループ名	種 別	施設名	平成27年3月31日				26年度	平成26年3月31日				25年度	備 考
			正 規 職 員	契 約	非 常 勤	職 員 数 合 計	(年 常 勤 換 算 平 均)	正 規 職 員	契 約	非 常 勤	職 員 数 合 計	(年 常 勤 換 算 平 均)	
保 育 支 援 系	保 育 所	むさしの保育園	36	3	22	61	48.1	36	4	20	60	52.3	調理委託(本園)
		昭和郷保育園	22	2	21	45	35.2	19	4	21	44	35.4	調理委託
		大山保育園	23	1	14	38	33.3	22	4	10	36	34.3	
		昭和郷第二保育園	31	4	23	58	48.6	29	3	26	58	46.8	調理委託
		みなと保育園	19	1	6	26	23.0	18	2	8	28	22.1	調理委託
		同援みどり保育園	25	5	19	49	40.0	25	1	19	45	39.2	
		つつじが丘保育園	25	2	17	44	35.9	24	2	18	44	36.0	調理委託
		同援さくら保育園	24	1	24	49	36.7	24	1	22	47	36.4	調理委託
	保育施設計		205	19	146	370	300.8	197	21	144	362	302.5	
高 齢 者 支 援 系	養護老人ホーム	万世敬老園	18	7	24	49	43.3	19	6	24	49	46.7	調理委託
	軽費老人ホーム	サンホーム	8	8	6	22	18.1	8	6	7	21	17.8	
		ライトホーム	1	1	1	3	2.7	1	2	0	3	3.0	
	救護施設	昭島荘	36	2	10	48	45.3	36	4	7	47	44.4	調理委託
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業 含)	フジホーム	30	23	14	67	61.0	27	17	21	65	57.1	調理委託
		ニューフジホーム	41	10	24	75	67.5	38	5	26	69	62.5	調理委託
		原町ホーム	19	5	15	39	37.7	18	4	17	39	36.5	調理委託
		ゆたか苑	23	3	14	40	36.9	22	4	17	43	31.5	調理委託
		ひかり苑	22	11	9	42	40.4	19	13	7	39	39.0	
	認知症対応型老人 共同生活援助事業 (グループホーム)	かえで	3	4	3	10	8.9	2	4	4	10	8.8	
		原町グループホーム	4	3	15	22	19.0	5	4	12	21	16.9	
	老人デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	3	1	11	15	11.5	3	1	10	14	11.9	
		フジ・デイホーム	1	1	6	8	6.7	1	0	6	7	6.8	
		原町デイサービスセンター	0	1	10	11	9.7	1	1	11	13	11.8	
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	1	2	6	9	7.1	1	2	6	9	6.6	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	9	0	2	11	9.2	8	0	1	9	8.9	
		昭島市中部地域包括支援センターあいぼつく	3	0	3	6	5.0	3	0	3	6	4.6	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	1	0	2	3	2.7	1	1	2	4	2.9	
		原町ホーム	2	0	0	2	2.0	2	0	0	2	2.0	
		ゆたか苑	1	1	0	2	2.0	2	0	0	2	2.0	
		ひかり苑	1	0	0	1	1.0	1	0	0	1	1.0	
	小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	3	2	6	11	10.8	4	1	7	12	11.4	
	公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高齢者施設計		230	85	181	496	448.5	222	75	188	485	434.1	

グループ名	種 別	施設名	平成27年3月31日				26年度	平成26年3月31日				25年度	備 考
			正 規 職 員	契 約	非 常 勤	職 員 数 合 計	(年 常 勤 平 換 算)	正 規 職 員	契 約	非 常 勤	職 員 数 合 計	(年 常 勤 平 換 算)	
障 害 者 支 援 系	障害福祉サービス	さやま園	57	12	34	103	80.0	48	15	24	87	77.8	
		小茂根福祉園	31	2	2	35	34.9	29	4	4	37	34.7	
		立川福祉作業所	11	2	11	24	22.0	10	4	18	32	24.2	調理委託
		東村山生活実習所	12	6	10	28	24.1	11	5	12	28	23.2	調理委託
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	12	1	7	20	15.6	10	2	8	20	15.2	調理委託
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	19	0	20	39	25.6	19	0	22	41	26.7	
	共同生活援助事業 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		グリーンハイツ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		フレンズ・モエ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		パ ル	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		それいゆ小川	—	(2)	—	0	—	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹丘1	—	(2)	—	0	—	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹丘2	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		レジオンス巣鴨	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		はなみずき	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		ユーカーリ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		夢オハナ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		結オハナ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
	障害者施設計		142	23	84	249	202.2	127	30	88	245	201.8	
児 童 ・ 女 性 支 援 系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	7	4	2	13	11.2	7	4	2	13	11.2	
		サンライズ青山	7	3	5	15	10.8	7	2	7	16	11.2	
		サンライズ万世	6	4	6	16	12.8	6	5	4	15	12.7	
	児童養護施設	双葉園	22	5	10	37	38.5	21	6	7	34	37.8	
		(地域小規模) 高嶋の家	4	0	0	4		2	2	0	4		
		(地域小規模) くすのき	4	0	0	4		4	0	0	4		
	婦人保護施設	いこいの家	8	3	4	15	11.3	8	3	4	15	13.6	調理委託
	児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと	3	0	7	10	7.5	2	0	9	11	7.8	
	放課後児童健全育成事業	つつじが丘北学童クラブ	0	0	6	6	3.8	0	0	5	5	3.5	
	児童・女性施設計		61	19	40	120	95.9	57	22	38	117	97.8	
	施設合計		638	146	451	1,235	1,047.4	603	148	458	1,209	1,036.2	
医 療	病 院	昭島病院	189	0	136	325	259.0	187	0	145	332	259.7	
		訪問看護ステーション	4	0	2	6		4	0	2	6		
収 益	印 刷	事業局	13	0	2	15	15.0	12	0	2	14	14.0	
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計			844	146	591	1,581	1,321.4	806	148	607	1,561	1,309.9	

注1 嘱託医等の業務委託や派遣職員は算入していない。

注2 共同生活介護・共同生活援助の職員配置は、委託事業のため職員数および常勤換算には含まない。

二 事 業 経 営

1 保育支援系福祉サービスの経営

保育所を経営しました。

【グループ総括】

- 1 年度当初より待機児解消のため、弾力入所を積極的に行いました。大山保育園新園舎が完成し、定員増に向け準備を整えました。
- 2 育児困難家庭、要配慮児への対応等、保育所の果たす役割を十分発揮しながら、保護者支援をするとともに専門機関との連携・共同を図りました。
- 3 地域の子育て支援の拠点として、子育て力の向上を目指し、情報や場所の提供に努めました。あわせて子育て相談の内容に応じて専門機関の紹介等も行いました。
- 4 保育グループ研修、各施設の研修計画に基づき実施し、多様なサービスを提供できる人材の育成に取り組み、職員の質の向上に努めました。
- 5 保育園の安全対策について、BCPに基づく訓練と整備、見直しを行い、利用者の安心、安全に努めました。
- 6 「子ども・子育て支援新制度」の施行にともない、研修参加や情報収集を行い、管理規程の見直しなど適切に対応しました。
- 7 新保育施設開設に向け、これまで培った保育理念、経験を基に質の高い保育が確保できるようにグループとして取り組むことが出来ました。

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 むさしの保育園

定員

169名

利用者 年間稼働率 104.3%

【施設運営状況】

- 1 分園では4月に0歳児2名欠員がありましたが、5月以降は安定し、定員増で受け入れることが出来ました。
- 2 一時保育事業開始から2年、杉並区独自の子育て応援券制度を導入することにより、一時保育利用者が増加、保育サービスが定着してきました。
- 3 第三者評価の利用者アンケートを行いました。保護者の意見を受け止め、職員間で共有し、改善できるところから取り組むことが出来ました。
- 4 育児困難家庭、要配慮児へ支援については継続支援を図り、専門機関との連携を更に深め、対応することが出来ました。
- 5 職員の資質向上に向け、内外の研修を受けると共に、保育園の目標の確認、カリキュラムの話し合いを充実し、現場に活かせるように努めました。

【利用者支援状況】

- 1 縦割り保育の中で、子どもがいきいきと自主的に異年齢児と関わっていけるように、日々の生活環境や、行事を設定しました。
- 2 子ども達の体力向上、健康な体づくりを目指し、年齢に応じた散歩や園庭遊びを多く取り入れることが出来ました。
- 3 保育園に蓄積された知識を活かし、食育・保健指導を充実。園児の食に対する関心が深まりました。保健では園児のみならず、職員の感染症や、保健に対する知識も増え、適切に対応することが出来ました。
- 4 防災・防犯は、訓練を通して改善策を検討。BCPを見直しながら、訓練に取り組むことが出来ました。
- 5 子ども・子育て支援新制度による制度の変更にあわせて、研修会に参加したり、職員間で情報の共有を図りました。また、管理規定の見直しなど適切に対応しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
園庭整備（池・砂場）	1,328		
購入等合計	1,328	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
分園内装工事 歯ブラシ殺菌保管庫	698 610	園庭整備（水遊び場）	1,383
購入等合計	1,308	購入等合計	1,383
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
保育たたみ	525	歯ブラシ殺菌保管庫購入 砂場新設工事	480 649
購入等合計	525	購入等合計	1,129
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		分園内装工事 保育たたみ購入	1,077 456
購入等合計	0	購入等合計	1,533

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	96	99	99	99	97	97	97	97
女児	78	78	79	79	80	79	79	79
合計	174	177	178	178	177	176	176	176

12月	1月	2月	3月	計
97	96	96	96	1,166
79	80	80	79	949
176	176	176	175	2,115

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	21	29	34	27
平成25年度	23	32	34	27
平成26年度	23	32	34	30

4歳児	5歳児	計
27	25	163
28	25	169
29	27	175

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷保育園

定員

100名

利用者 年間稼働率 115.7%

【施設運営状況】

- 1 年度当初、全体では定員以上の入所でしたが、0才児は育児休業取得等により6月まで入所が出来る状況でした。途中退園もありましたが、すぐに入所に繋がり待機児解消に努めました。
- 2 園内外の補修等が予定通り実施でき、安全な保育環境を整えることが出来ました。
- 3 子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、研修、説明会に参加し状況の変化に合わせて、適切な準備、対応が出来ました。
- 4 研修計画に基づき園内、園外研修を実施でき、個々の役割と業務に合わせた職員育成に繋がりました。
- 5 日々の安全管理とともに、緊急時に備えあらゆる状況の想定をして、BCPに沿った訓練と確認、見直しが出来ました。

【利用者支援状況】

- 1 保育計画にそった子ども一人ひとりの成長に合わせた保育で、多くの体験が出来、豊かな感性と子どもの生きる力が育ちました。
- 2 家庭的な雰囲気の中で健康で情緒が安定した生活が出来、保健活動、食育活動を行うことで関心が持てるようになりました。
- 3 日常保育や行事、施設訪問などで異年齢児、地域の方々、高齢者と関わる中でやさしさや思いやりの気持ちが育ち、一緒に過ごしたり接することができました。
- 4 定期的に行う体力測定や遊びの中での運動により、運動量が増え健康な生活を送ることができました。
- 5 子育て支援の拠点として、情報の発信や、要望に対して育児講座等を開催し、相談などにも応じることができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
沐浴槽	600	沐浴槽	619
		乳児クラス靴箱	992
購入等合計	600	購入等合計	1,611
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
乳児クラス靴箱	780		
購入等合計	780	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
食器洗浄機	1,350		
購入等合計	1,350	購入等合計	0

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	57	59	59	60	60	60	60	60
女児	53	57	57	56	56	56	57	57
合計	110	116	116	116	116	116	117	117

12月	1月	2月	3月	計
60	60	60	60	715
57	57	57	57	677
117	117	117	117	1,392

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	11	15	22	23
平成25年度	11	16	23	24
平成26年度	11	16	23	24

4歳児	5歳児	計
21	26	118
24	18	116
21	22	117

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 大山保育園

定員

122名

利用者 年間稼働率 101.4%

【施設運営状況】

- 1 入所状況は今年度は弾力で3名は受け入れましたが、5歳児が2名定員割れし、なかなか入所がなく2月・3月で定員となりました。昨年より稼働率が1.2%下りました。
- 2 仮園舎では安全面に留意し保育をしました。新園舎への引っ越しもスムーズに進み、更に安全面・危機管理の徹底を図りました。
- 3 行事を通して仮園舎の地域の方との交流、高齢者施設への訪問また高齢者の方による絵本の読み聞かせ等、継続し積極的に取り組みました
- 4 職員育成は年間を通し職員が平均的に研修に参加できるよう体制をとるとともに、園内研修には職員のスキルアップに繋がるよう資質の向上に努めました。
- 5 「子ども・子育て支援新制度」について行政説明の報告など周知し職員間での共有を図りました。また新制度に伴い運営規程・重要事項説明書の作成及び管理規定の見直し等の対応が出来ました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの成長に合わせ支援することで意欲的に活動ができるよう取り組みました。また、「たくましく生きる力」を目標に保育内容の充実につとめました。
- 2 家庭と保育園の連携を密にして子どもの成長に繋げ、信頼関係を築けるよう努力しました。
- 3 運動機能に関しては散歩・じゃれつき遊び・10分体操の継続によって、体力の向上等、成果が徐々に見られるようになりました。
- 4 近隣の大学生・実習生・小学生・中学生のボランティアを積極的に受け入れ、お互いに刺激となりました。豊かなこころ、やさしさ等、こころの発達に繋がりました。
- 5 仮園舎での危機管理として防災訓練 BCPに添った訓練を行いました。新園舎での安全面や危機管理に更に配慮し、園児・保護者の安心・安全に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
土地賃借料	1,149	土地賃借料	1,149
購入等合計	1,149	購入等合計	1,149
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
パソコン	600	土地賃借料	735
土地賃借料	1,149		
購入等合計	1,749	購入等合計	735
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
土地賃借料	1,149	土地賃借料	1,102
購入等合計	1,149	購入等合計	1,102
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
運搬料	1,000	運搬料	707
保育支援ソフト設置設定	800	保育支援ソフト設置設定	1,087
粗大ごみ処理代	2,000	粗大ごみ処理代	
本体工事費	427,488	本体工事費	437,581
土地賃借料	1,149	土地賃借料	1,102
		固定資産処分損	18,991
購入等合計	432,437	購入等合計	459,468

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	66	67	68	68	68	68	68	68
女児	56	56	55	55	55	55	55	55
合計	122	123	123	123	123	123	123	123

12月	1月	2月	3月	計
69	69	70	70	819
55	55	55	55	662
124	124	125	125	1,481

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	12	20	21	24
平成25年度	12	20	21	24
平成26年度	12	20	21	24

4歳児	5歳児	計
24	24	125
24	24	125
24	24	125

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷第二保育園

定員

190 名

利用者 年間稼働率 106.5 %

【施設運営状況】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門知識技能を活かし、地域関係機関と連携して園児の保育の充実と、保護者、地域未就園児保護者の育児支援に努めました。
- 2 年度当初より入所定員の弾力化を行い、年度末には定員より15名増の園児を受け入れ、3月の月間利用率は107.9%となりました。年間を通して待機児解消に努めました。
- 3 定員増2年目、多くの子ども達が生活できる場として、BCPに基づく訓練や非常時を含めた安全対策と衛生対策の見直しを行い、園児、保護者に安心して利用して頂けるよう努めました。
- 4 多様なサービスと質の高い保育を提供できるよう園内の研修の充実と園外研修への参加等により、職員の質の向上を図りました。
- 5 社会の要請やニーズに対応するため、利用者調査を行いました。「子ども・子育て支援新制度」の施行にともない、重要事項説明書や管理規程の見直しを行いました。

【利用者支援状況】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重した経験や体験、文化の伝承から生きる力の基礎を育て、豊かな心を持った、健康で逞しい子どもの育成を目指しました。
- 2 異年齢、同年齢児で遊ぶ中での育ち合いを見守りながら、子ども相互の関係作りや社会性を育む保育に努めました。
- 3 保育士等の適切な言葉かけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、第二の自我の形成から、自分で判断できる子どもの育成に努めました。
- 4 安全で衛生的な環境を用意し、保育園に蓄積された保育・保健・栄養等のノウハウを活かし、子ども達が安心して過ごせるよう努めました。
- 5 園庭開放やちびっこ広場を通して、地域未就園児保護者の子育て力の向上を目指し、場所と情報の提供を行うなど地域の育児支援に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
		可動式テント取付	2,089
購入等合計	0	購入等合計	2,089
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
可動式テント取付	2,200		
購入等合計	2,200	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
園庭固定遊具設置（乳児）	2,000		
購入等合計	2,000	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
園舎内壁塗装	800	園庭固定遊具設置（乳児）	839
		園舎内壁塗装	486
購入等合計	800	購入等合計	1,325

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	85	87	89	91	91	91	92	91
女児	108	110	111	112	112	112	113	113
合計	193	197	200	203	203	203	205	204

12月	1月	2月	3月	計
91	91	91	91	1,081
112	115	115	114	1,347
203	206	206	205	2,428

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	24	30	32	36
平成25年度	31	32	37	30
平成26年度	31	35	34	38

4歳児	5歳児	計
32	36	190
36	32	198
30	37	205

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 みなと保育園

定員

70名

利用者 年間稼働率 100.8%

【施設運営状況】

- 1 年度途中、転園、退園が多く（地域的に外資系企業勤務者が多いため）、幼児の定員割れがありましたが、100%を超える年間利用率でした。
- 2 「気になる子」や要保護児童への支援など、区や関連機関との連携を積極的に図りました。また、第三者委員会（年に3回）でアドバイスを頂き、より良い支援につなげることができました。
- 3 利用者アンケートを実施し、保護者のニーズや園の課題を話し合うことで前向きに取り組むことができ、改善につながりました。
- 4 「子ども・子育て支援新法」施行にともない、区や保育グループと連携をとり、新年度に向けてスムーズな移行ができるように努めました。
- 5 園内外の研修に積極的に参加し、学んだ知識や技術を現場で実践することができました。また、人事考課の成果イメージに即した内容の研修に参加できるように取り組み、育成を行いました。

【利用者支援状況】

- 1 継続した育ちを保证するために、会議等で情報の共有を図り、園児一人ひとりを園全体で保育するよう努めました。また、保育課程の見直しを行いました。
- 2 子どもの主体性や創造性を養うためにいろいろな経験や体験をさせるとともに、環境や保育士のかかわり方について会議等で充分話し合い、取り組むことができ、運動会や発表会ではその成果を確認することができました。
- 3 在園児の保護者にはもちろん、地域の方々へ向けた育児講座等を行い、保育園の持つ子育てのノウハウを伝えとともに、育児相談を受けるなど保育園としての役割を果たすことができました。
- 4 保護者の保育参加を積極的に働きかけ、園での子どもの姿、集団での姿を観て頂くことで、子どもへの支援の状況を理解して頂くことができました。
- 5 近隣の消防署、警察署、立会いのもと、通報訓練や消火訓練を行いました。また、BCPの見直しや訓練を行いました。職員全員が普通救命講習を受け技術認定証を受けました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
事務所棚 階段補修	2,205 1,730	事務所棚 階段補修	2,205 1,730
購入等合計	3,935	購入等合計	3,935
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
給水管工事	8,000		
購入等合計	8,000	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
非常通報装置	500		
購入等合計	500	購入等合計	0

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	39	39	39	39	38	38	37	38
女児	33	32	32	33	32	31	31	31
合計	72	71	71	72	70	69	68	69

12月	1月	2月	3月	計
39	40	40	40	466
31	31	32	32	381
70	71	72	72	847

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	7	11	12	15
平成25年度	7	11	13	14
平成26年度	7	11	13	14

4歳児	5歳児	計
13	14	72
14	13	72
13	14	72

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 **同援みどり保育園**

定員

125名

利用者 年間稼働率 **103.8**%

【施設運営状況】

- 1 昨年同様に定員の弾力化を行い、待機児解消に努めました。また、年間を通して安定した保育を行いました。
- 2 子ども達が安心・安全で快適な園生活ができるように、施設整備に努めました。また、防災マニュアルの見直しやリスクを想定した訓練や体験をする機会を設けました。
- 3 地域の未就園児を持つ保護者に対して、様々な「楽しい経験」を提供して保育園での生活を紹介いたしました。また、地域のニーズや子育てに関する悩みを把握し育児相談を行い地域支援を致しました。
- 4 保護者の就労支援のみならず「育児困難家庭」や「気になる子」の対応など、専門機関と連携して保護者の育児不安などのサポートに努めました。
- 5 利用者アンケートの意見を真摯に受け止め、保育サービスの見直しに努めました。改善すべきことに素直に取り組んだことで、保護者の信頼を得られ保育の質の向上に繋がりました。

【利用者支援状況】

- 1 成長・発達にあった集団ならではの遊びを多く取り入れ、子ども達の「心の成長」を大切にしたい保育を心がけました。
- 2 保育環境を見直し、施設整備に努めました。特に0歳児保育室トイレ工事等、安全で清潔な環境の提供をいたしました。
- 3 様々な年齢の子ども達と自然と交わる園内の様子には、長年行っている異年齢児およびお年寄りとの交流や縦割り保育の成果を感じました。また、保護者からも良い評価をいただいています。
- 4 長時間保育の利用者が多い為、できるだけ担任と保護者が直接話をする機会を多く持つようにすることで保護者との良い関係を構築できました。
- 5 夜8時までの延長保育の利用者が急激に増え、保育の仕方や保育士の勤務時間の変更などを工夫し、保護者の就労支援に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
高圧受変電設備更新工事 コピー機更新	5,500 700		
購入等合計	6,200	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
LED照明交換工事	1,000	LED照明交換工事	1,000
購入等合計	1,000	購入等合計	1,000
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
0歳児トイレ改修工事	6,400	高圧受変電設備更新工事	4,860
購入等合計	6,400	購入等合計	4,860
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		0歳児トイレ改修工事	5,550
購入等合計	0	購入等合計	5,550

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	72	72	72	72	71	71	71	72
女児	58	58	58	58	58	58	58	58
合計	130	130	130	130	129	129	129	130

12月	1月	2月	3月	計
72	72	72	72	861
58	58	58	58	696
130	130	130	130	1,557

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	12	21	24	25
平成25年度	12	19	24	25
平成26年度	12	19	24	25

4歳児	5歳児	計
25	25	132
25	25	130
25	25	130

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 **つつじが丘保育園**

定員

110名

利用者 年間稼働率 **119.6**%

【施設運営状況】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、専門的知識、技能を生かし、保育所の役割を果たしました。職員が積極的に研修等に参加し、保育困難児の対応も一人ひとりに合わせた関わりに務めました。又専門機関との連携により、子育て支援に努めました。
- 2 保育園を核として様々な機関や組織と連携し、地域の子育て支援、就労支援の充実に努めました。
- 3 待機児童解消に向け、年度当初より積極的に受け入れを行いました。又一時保育も緊急の受け入れや定期的な利用など、保護者のニーズに合わせてできる限り受け入れました。
- 4 職員育成計画・チューター制度の充実・研修の充実を図りました。園内外の研修に積極的に参加し、研修内容を職員同士で共有したり、それを保育につなげていくなど活きた研修を行うことに努め、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材育成を目指しました。
- 5 国が進める「子ども・子育て支援新制度」の制度改革に注目し、研修や学習会に参加し、新制度を理解し、それに対応できる準備を整えました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や精神面・家庭環境を把握し、生活リズムを整えると共に、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指しました。
- 2 様々な行事や日々の保育の中で、『五感（触覚）を育む』というテーマをもとに色々なものに触れる体験や実体験を通した活動を取り入れることで、子どもの生きる力、感謝の気持ちを育てました。
- 3 子どもたちが実際に体験したことを様々な表現活動につなげ楽しむことで、子どもたちの豊かな感性を育てました。
- 4 縦割り保育の中や近隣の保育園、小学校との触れ合いを通して、子どもたちが共に生活し、互いに関わりながら、優しさや思いやりの気持ちが育つように援助しました。
- 5 安心・安全の下で子どもたちが楽しんだり、遊び込める環境づくりを、子どもの目線になって行うことに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
0.1歳児外用温水工事	1,500	→自転車置場・園庭遊具置場	
乳児押入れ改修	1,000	建替に変更（科目間流用伺い）	
		空調機部品交換修繕工事	756
購入等合計	2,500	購入等合計	756
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
幼児トイレ沐浴槽改修	2,300	自転車・園庭遊具置場建替え	1,060
購入等合計	2,300	購入等合計	1,060
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
保育室床張替	5,000		
保育室ドア修理	2,000		
舞台一式	1,000	→可動式布団収納庫他に変更3月購入	720
購入等合計	8,000	購入等合計	720
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
乳児ロッカー	500	床張替工事	2,484
乳児水道改修	3,500	幼児トイレ改修工事	1,329
		乳児押入れ改修・ドア改修	1,012
		床暖房工事	1,354
購入等合計	4,000	購入等合計	6,179

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	65	65	65	65	64	65	65	65
女児	66	66	66	66	67	67	67	67
合計	131	131	131	131	131	132	132	132

12月	1月	2月	3月	計
65	65	65	65	779
67	67	67	67	800
132	132	132	132	1,579

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	20	24	23	23
平成25年度	20	21	24	22
平成26年度	18	26	22	23

4歳児	5歳児	計
22	22	134
23	22	132
21	22	132

平成26年度 事業報告書（保育所）

施設名 同援さくら保育園

定員

108名

利用者 年間稼働率 112.9%

【施設運営状況】

- 1 入所については待機児解消のため、積極的に弾力入所を行いました。また、特別保育事業も年間を通して安定したサービスの提供を行いました。
- 2 利用者アンケートでは昨年度よりさらに高い満足度となりました。また職員による園の自己評価と合わせて園の運営・保育の振り返りを行い、職員間の意識統一、課題改善に取り組みました。
- 3 昨年度から引き続き、保護者による1日保育士体験を実施したことで、積極的に参加してくれる保護者が増え、園の理解とともに育児力の向上・父親の育児参加のきっかけづくりとなりました。
- 4 計画的な職員の研修の参加、実践的な職員による、職員のための園内研修を行い職員の質の向上に努めました。
- 5 「子ども・子育て支援新制度」の研修の参加や情報収集をし、職員が理解するとともに保護者にも情報提供を積極的行いました。

【利用者支援状況】

- 1 1日保育士体験により、保護者が子ども・クラスの状況をより知ることができ、具体的な子どもとのかかわり等園との相互理解を深めました。また、園の方針等の理解にもつながりました。
- 2 日々、異年齢児・複合施設の高齢者・地域や他園の子ども達等、様々な人とのかかわりを持つことで相手の気持ちや思いやりの気持ちを感じ、心の豊かさを育てました。
- 3 多くの事業を行う中で子ども一人ひとりの発達状況・家庭環境を把握し、年齢発達に応じた保育環境や活動を提供しました。また、情緒の安定を図り継続した運動遊びや集団ならではの活動を取り入れていきました。
- 4 計画的に園外研修に参加し、それらを活かした職員による日々の保育で実践できる園内研修を行っていきました。職員一人ひとりのスキルアップ・保育内容の充実に努めました。
- 5 安心安全な保育環境の整備を心掛け、災害時・不審者等の訓練を行うことでより具体的な対応を確認し、職員の共通理解を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
乳児保育室扇風機設置	642	給湯器	540
		乳児保育室扇風機設置	642
購入等合計	642	購入等合計	1,182
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
床補修 （乳児保育室・ランチルーム）	1,400	床補修 （乳児保育室・ランチルーム）	1,370
購入等合計	1,400	購入等合計	1,370
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
給湯器	510		
購入等合計	510	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		スチームコンベクション	1,109
購入等合計	0	購入等合計	1,109

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	60	60	60	60	60	60	60	60
女児	62	62	62	62	62	62	62	62
合計	122	122	122	122	122	122	122	122

12月	1月	2月	3月	計
60	60	60	60	720
62	62	61	61	742
122	122	121	121	1,462

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成24年度	15	20	20	22
平成25年度	15	20	21	23
平成26年度	15	20	21	22

4歳児	5歳児	計
19	22	118
19	23	121
22	21	121

2 高齢者支援系福祉サービスの経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 地域自治会や民生委員等との連携を深め、一人暮らし高齢者の相談や生活支援の他、家族向け介護講習会などを積極的におこない、地域の拠点施設としての役割に努めました。
- 2 優秀な人材を確保するとともに、利用者の立場に立ち、「個人の尊厳」や「一人ひとりに応じた自立支援」のできる貢献度の高い福祉人材の育成を目指し、初任者研修事業に取り組みました。
- 3 質の高いサービスを提供し続けるため、積極的に第三者評価機関等による情報開示や多くのボランティアの導入を行い、法令を遵守した施設運営を行いました。
- 4 社会福祉法人としての役割を担い、地域高齢者のニーズに即して認知症カフェの運営やランチ交流会の開催、介護者教室の開講、災害時における要援護者の受け入れ整備などに努めました。
- 5 新人研修やフォローアップ研修をはじめ、援助技術向上のためのグループ研修や介護職員交換研修の他、各施設が介護職員の技術向上のための研究をおこない、グループ全体のサービスの向上に繋げることができました。
- 6 健全経営を目指して、管理費や委託費の見直しや消耗品、介護用品の選定をおこなうことで、コスト削減に繋がりました。
- 7 東京都経営支援事業及びサービス推進費の各種加算の算定が可能となるような体制作りを行い、収支バランスの改善に努めました。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護しました。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与しました。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されています。

3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行いました。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給に係る方等を養護しました。

5 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行いました。

6 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障があり、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

7 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行いました。

8 小規模多機能型居宅介護事業

地域密着型サービスとして、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供しました。

9 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、サービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行いました。介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成し、その他の介護に関する専門的な相談に応じました。

10 介護職員初任者研修事業

介護職員初任者研修事業(通信)

「介護職員初任者研修」は、基礎的な知識・技術の修得を目的としたものです。介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の魅力を伝えつつ、雇用の拡大並びに高い介護人材の確保、介護福祉士を目指す職員の育成を目的としています。

開催期間：平成26年10月～12月（受講生）11名
研修内容：自宅学習 40時間、面接授業 78時間[約15日間]、
施設実習：12時間[介護実習8時間、同行訪問4時間]
主な会場：原町高齢者複合施設 地域交流室(東京都新宿区原町3-84)

平成26年度 事業報告書（養護老人ホーム）

施設名 **万世敬老園**

定員 **200** 名

利用者 年間稼働率 **99.3** % 平均年齢 **79.9** 歳 （最高 **98.2** 歳）
（最低 **59.8** 歳）

男女比率 **22 対 17**

平均在所期間 **7.7** 年 （最長 **25.2** 年）

年間入所 **29** 名

年間退所 **33** 名

主な入所理由 **虐待・住居立ち退き・措置換え・病院退院後行き先なし**

主な退所理由 **死亡・特養入所・長期入院**

【施設運営状況】

- 1 軽費老人ホームと共同で、地域生活困窮者の入所及び自立支援について、東社協で合同研究発表をしました。
- 2 （2月末まで累計稼働率99.5%）、26年度末は100%、積極的な受入れも、要介護、要医療の利用者の適切な他施設への入所が上回りました。
- 3 第三者評価では、ボランティア活動を含めた人材育成は更に改善を要し、利用者の美園活動等は健康的な生活として評価されました。
- 4 地域第四ブロックとの活動を中心に一市民としての生活を支援してきました。
- 5 施設老朽化に速やかに対応し、建替え等を視野に入れた施設管理をすることで、財源の適正化を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者主体の自主自立を養護支援の柱とした自由な生活づくりを支援し、介護等予防支援を認識した健康生活づくりに取り組みました。
- 2 ケースワークを展開し措置理由の改善解消に取り組みました。
- 3 施設老朽化が進む中、安全安心の快適な環境づくりを支援しました。
- 4 利用者の活躍場面の再構築として、利用者が主体的に美園計画として園舎周囲の美化活動を支援しました。
- 5 自治会の活性化を支援し、利用者の帰属感から生まれる主体的な生活づくりに取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
エアコン取替工事	1,000	エアコン取替工事1台	208
		自転車置場工事	1,161
購入等合計	1,000	購入等合計	1,369
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
エアコン取替工事	1,000	エアコン取替工事1台	208
購入等合計	1,000	購入等合計	208

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	109	109	109	111	111	109	110	111
女性	90	91	91	89	88	88	88	88
合計	199	200	200	200	199	197	198	199

12月	1月	2月	3月	計
111	109	109	111	1,319
89	89	89	89	1,069
200	198	198	200	2,388

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成24年度	201	3	17	36	53	42	32	18
平成25年度	202	2	14	31	56	46	32	21
平成26年度	200	2	13	37	53	44	31	20

平成26年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	サンホーム		定員	50名					
利用者	年間稼働率	100.0	%	平均年齢	83.7歳	(最高	97	歳)	
						(最低	69	歳)	
	男女比率	18対32							
	平均在所期間	6.4	年	(最長	18	年)			
	年間入所	5	名						
	年間退所	6	名						
	主な入所理由	独居不安・住宅事情							
	主な退所理由	介護保険施設入所・死亡・自宅引取り							

【施設運営状況】

- 1 利用者の年間退所は 6名ほどであり、稼働率は100%を維持出来ました。今後も居宅支援事業所との協力、地域に情報開示等行い利用率の向上に努力します。
- 2 地域に長く居住出来るための手助けとして見守りを重視し、配食事業を充実させる努力してきました。
- 3 第三者評価を今年度も実施し、第三者の意見を真摯にうけとめ、職員の資質向上に向けて努力をしました。
- 4 地域の施設理解に繋げるために雑学交流会を実施し、さまざまな問題を地域住民と共に考える機会をもちました。
- 5 外部研修、法人研修参加を通して、一人ひとりの経験等にあった研修参加をめざし職員資質の向上に繋げると共に、施設内での知識共有もはかり、全体の底上げに努力しました。

【利用者支援状況】

- 1 介護予防プランの立案を職員と共に実現できる様な支援計画の実施し、日々の生活の中でその人なりの思いを汲み取り支援を行ないました。
- 2 近隣施設、地域住民と交流する中で社会の一員である機会を設け、社会参加に繋がりました。
- 3 利用者満足に繋がられるように、利用者の身体状況の変化に併せた、行事内容等の工夫を行いました。
- 4 安心して安全な生活が営めるよう住環境整備に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
居室廊下補修	1,200	冷温水機補修	378
購入等合計	1,200	購入等合計	378
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
エレベータ補修	1,000	居室廊下補修	477
		冷温水機補修	464
購入等合計	1,000	購入等合計	941
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
冷温水機補修	1,000	冷温水機補修	320
購入等合計	1,000	購入等合計	320
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
LED交換工事	1,500	L E D交換工事	1,664
		冷温水機補修	359
購入等合計		購入等合計	

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	18	18	18	18	18	18	18	18
女性	32	32	32	32	32	32	32	32
合計	50	50	50	50	50	50	50	50

12月	1月	2月	3月	計
18	18	18	18	216
32	32	32	32	384
50	50	50	50	600

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成24年度	50	0	2	2	9	15	15	7
平成25年度	50	0	1	4	9	13	18	5
平成26年度	50	0	1	5	4	14	17	9

平成26年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	ライトホーム		定員	50名	
利用者	年間稼働率	72.7%	平均年齢	82.6歳	(最高 93歳) (最低 70歳)
	男女比率	6対28			
	平均在所期間	10年	(最長 25年)		
	年間入所	0名			
	年間退所	2名			
主な入所理由	無し				
主な退所理由	他施設への住み替え				

【施設運営状況】

- 1 利用者の意見、要望を受けるために、外部評価機関の第三者評価を受審し、その結果を事業展開に活用するとともに、情報公開に努めました。
- 2 日常生活支援においては積極的な見守りに努め、早急に体調の変化に対応してまいりました。
- 3 介護予防に重点をおいた計画の作成を行い、プランについては説明及び文章にてお渡しするとともに定期的な見直しを行いました。
- 4 業務改善、施設運営に向けて、職員の育成を行い、マニュアルを利用した教育、外部研修への参加の充実により育成にあたりました。
- 5 利用者数の減もあり、収入も減っておりますが、物品購入時に見積もり比較を行う等、経費の削減に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 退去される利用者へのアフターフォローに努め、個人、家族、関係機関との連携に努めました。
- 2 苦情・要望の早期発見、即時対応に努め、苦情件数の減に努めました。
- 3 重度加算対象者への対応を行い、日々の生活がより安心して営めるよう支援してまいりました。また、介護予防にも積極的に取り組みました。
- 4 地域との関わり、介護予防面において、外部の情報や活動の場を提供し、園内の介護予防活動に外部からの参加を促し活性化に努めました。
- 5 介護サービスを活用し、一日でも長くライトホームで生活が継続できるよう支援を展開してまいりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	6	6	6	6	6	6	6	6
女性	31	31	31	31	31	31	31	31
合計	37	37	37	37	37	37	37	37

12月	1月	2月	3月	計
6	6	6	6	72
30	29	29	29	365
36	35	35	35	437

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成24年度	32	0	1	4	6	8	9	4
平成25年度	38	0	0	9	5	8	12	4
平成26年度	35	0	0	6	5	7	9	8

平成26年度 事業報告書（救護施設）

施設名	昭島荘	定員	100名
利用者 年間稼働率	99.0%	平均年齢	65.7歳（最高85歳） （最低40歳）
男女比率	48対50		
平均在所期間	16.3年	（最長	55.8年）
手帳保持者	92名		
（愛の手帳23名、身障手帳23名、左記両手帳 5名、精神障害保健福祉手帳58名）			
年間入所	8名		
年間退所	10名		
主な入所理由	居宅、病院、他施設		
主な退所理由	特養移管、長期入院、死亡		

【施設運営状況】

- 1 多様な障害者を受け入れ、セーフティネットとしての機能を果たしました。
- 2 支援システムの入れ替えを検討し、職員間の情報伝達の効率化を行いました。
- 3 内部、外部の研修を積極的に行い職員の育成に努めました。
- 4 業務マニュアル委員会で業務を検討し、業務の標準化に取り組みました。
- 5 ホームページや施設通信等の検討を行い、情報開示に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 個別支援計画を支援システムにより職員間で共有し、計画に基づいた支援をチームで展開いたしました。
- 2 利用者の生活環境を整え、衛生的で清潔な施設づくりを行いました。
- 3 居宅生活訓練事業の実施に向けた活動及び支援を行いました。
- 4 平均年齢65.7歳、高齢化、疾病等による機能低下の利用者が増えています。
- 5 一時入所事業を行い、本年度は8名 述べ28日の受け入れを行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
食堂北側照明工事	1,450	食堂北側照明工事	385
クラブハウス照明器具	650	クラブハウス照明器具	326
リフト付ハイエース	4,600	低床3モーターベッド	1,350
低床3モーターベッド	1,547		
耐火金庫	600		
購入等合計	8,847	購入等合計	2,061
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
食堂高天井照明交換	2,000	リフト付ハイエース	3,724
2階スロープ塗装工事	2,250	2階スロープ塗装工事	1,823
温冷配膳車2台	4,600	温冷配膳車2台	4,424
ごみ捨て場改修工事	2,490	耐火金庫	594
購入等合計	11,340	購入等合計	6,841
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
2階職員トイレ改修工事	2,000	食堂高天井照明交換	1,088
西側トイレ間仕切り交換	1,925	2階職員トイレ改修工事	1,960
購入等合計	3,925	購入等合計	3,048
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		ごみ捨て場改修工事	1,382
		西側トイレ間仕切り交換	1,924
		利用者トイレ壁タイル交換	1,109
		作業棟床張り替え工事	1,237
購入等合計	0	購入等合計	5,652

利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	52	52	51	52	52	52	52	52
女性	48	48	48	48	48	48	48	48
合計	100	100	99	100	100	100	100	100

12月	1月	2月	3月	計
51	50	49	48	613
48	48	48	49	577
99	98	97	97	1,190

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	100	0	0	0	0	1	2	1	96
平成25年度	100	0	0	0	0	1	2	5	92
平成26年度	97	0	0	0	0	0	3	4	90

平成26度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	フジホーム		定員	100名	
短期入所	専用	4名	空床利用	6名	
利用者	年間稼働率	94.9%			
	（特養	94.4%	短期入所	109.2%	空床利用含む）
男女比率	2対8		平均年齢	87.4歳	
	（最高	103歳）	平均要介護度	3.7	
	（最低	66歳）			
平均在所期間	4.5年	（最長	20年）		
年間入所	21名				
年間退所	15名				
主な入所理由	在宅介護困難な為				
主な退所理由	死亡				

【施設運営状況】

- 1 「持ち上げない介護」については、各部署において福祉用具の購入、研修等を実施。取り組みを深化・継続し利用者の安心・安全を図ってきました。
- 2 稼働率については、相談員・介護職員が連携し速やかな入所に繋げるよう努力してきました。年度の後半になり、満床に近くなってきましたが、最終的には年間の目標稼働率（96.5%）には及びませんでした。
- 3 ケアプラン担当相談員が、ご本人やご家族の状況を把握しつつ、他職員の意見も取り入れながら綿密なプランを策定してきました。多くのご家族もケアプラン会議にご参加いただき、ご利用者の置かれている状況の共有が図れました。
- 4 ボランティア活動のニーズに対しては、積極的に受け入れを図ってきました。施設側からの地域に対する情報発信は今後も更なる努力をしていきます。
- 5 様々な生活課題を抱えた方の拠り所となり、セーフティネットの役割を果たすには、力不足の面がありました。しかし虐待等の問題を抱えた高齢者の方に対しては、地域包括支援センターと協力のもと一定の成果がありました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者本位とは何かを常に自問しながら、身体的な自立支援だけでなく、心身的な自立支援に努めました。
- 2 常にモットーである「寄り添う介護」を呼びかけ、利用者の心身に寄り添い、個別ケアを実践してきました。

- 3 マニュアル委員会、主任を筆頭に基礎的なケア方法を再確認しながら、人材育成に活かし、安全対策に努めました。
- 4 創意工夫や自立性の高い職員育成を目指し、課題解決を自身で実行できる職員の育成に努め、介護技術、接遇技術の向上、職員資質向上に努めました。
- 5 口腔ケア委員会を中心に口腔衛生に努め、誤嚥性肺炎の予防、経口維持に重点を置いたケアに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
3階浴槽交換工事	8,650	3階浴槽交換工事	8,650
購入等合計	8,650	購入等合計	8,650
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
中庭外壁クラック工事	7,500		
購入等合計	7,500	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
飛散防止ガラスフィルム貼付	1,600		
購入等合計	1,600	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		全館壁面打診調査	1,458
		飛散防止ガラスフィルム貼付	1,450
購入等合計	0	購入等合計	2,908

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	15	15	16	15	17	17	18	16
女性	79	80	80	79	82	81	79	84
合計	94	95	96	94	99	98	97	100

12月	1月	2月	3月	計
17	17	15	16	194
83	83	85	83	978
100	100	100	99	1,172

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成24年度	99	0	0	3	14	26	19	37	99
	21	0	0	62	410	1,024	144	466	2,106
平成25年度	97	0	0	3	11	21	31	30	96
	19	0	2	78	302	712	586	81	1,761
平成26年度	96	0	0	1	15	22	34	27	99
	18	0	0	64	134	683	458	265	1,604

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成26年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ニューフジホーム		定員	100名
短期入所	専用	4名	空床利用	6名
利用者	年間稼働率	93.4%		
	（特養	92.0%	短期入所	127.1%
			空床利用含む）	
	男女比率	3 対 22	平均年齢	85.5歳
	（最高	101歳）	平均要介護度	3.9
	（最低	58歳）		
	平均在所期間	4.15年	（最長	15.9年）
	年間入所	26名		
	年間退所	25名		
	主な入所理由	在宅での生活継続困難		
	主な退所理由	死亡		

【施設運営状況】

- 1 入院者の増が、稼働率に大きく影響してしまいました。短期入所生活介護の空ベット利用を積極的に起こないましたが、稼働率93.4%と課題を残す結果となりました。
- 2 利用者の人権を尊重し、利用者個々の状況に応じた生活支援の提供ならびにその質の向上を図るために、外出支援等個別ケアの充実に努めました。
- 3 社会福祉法人の役割を担い、低所得者の受入も継続的に起こないました。
- 4 毎月の施設内研修に産業医の講義を取り入れたり、個人のスキルに合わせた研修会参加をはじめ、研究発表等も積極的に起こない人材育成に努めました。
- 5 地域の期待に応えるとともに、医療的ケアを必要とする方をはじめ、介護度や認知度の高い利用者也積極的に受入ました。

【利用者支援状況】

- 1 「全国老人福祉施設研究会議」において「いつまでも食事をおいしく食べるために」をテーマに介護現場の取り組みを発信することができました。このニューフジホームの取り組みが全国で評価され2年連続で優秀賞を授与されました。
- 2 移乗福祉用具を活用し安心して安全な介護に努めました。

3 咀嚼力や嚥下力を取り戻す機能改善に取り組み、常食化に努めました。

4 データや医学的根拠に基づいた科学的介護の実践を目指した「介護力向上講習会」へ年間を通じて参加しスキルアップを図るとともに、「タクティールケア」の充実、認知症緩和ケアの向上に努めました。

5 ボランティの協力により、寝たきり高齢者への積極的なアプローチをおこない、意識改善に努めることができ個別ケアの向上に繋がりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
2階西フロアー空調設置	800	ガラス飛散防止フィルム	1,000
跳ね上げ式車椅子	1,450		
ガラス飛散防止フィルム	1,000		
職員ユニホーム	500		
購入等合計	3,750	購入等合計	1,000
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
居室空調入替	600	居室空調修繕・入替	240
トイレ改修（来客）	3,200	トイレバルブ修繕	100
		厨房換気扇取替え	260
購入等合計	3,800	購入等合計	600
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		業務用洗濯機修繕	500
購入等合計	0	購入等合計	500
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
温冷配膳車	1,500	跳ね上げ式車椅子	440
		トイレバルブ修繕	250
		加圧ポンプ取替え	200
購入等合計	1,500	購入等合計	890

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	14	13	10	11	11	12	12	12
女性	83	82	82	84	86	83	85	85
合計	97	95	92	95	97	95	97	97

12月	1月	2月	3月	計
12	11	11	11	140
85	86	85	88	1,014
97	97	96	99	1,154

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成24年度				4	6	18	35	34	97
		18		267	473	363	405	148	1,674
平成25年度				6	6	16	31	39	98
		6	22	339	355	386	599	85	1,792
平成26年度				7	11	10	34	37	99
			3	103	206	651	566	326	1,855

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成26年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	原町ホーム		定員	50名	
短期入所	専用	2名	空床利用	4名	
利用者	年間稼働率	99.1%			
	（特養	96.8%	短期入所	156.6%	空床利用含む）
男女比率	4対21		平均年齢	88.3歳	
	（最高	99歳）	平均要介護度	4.08	
	（最低	68歳）			
平均在所期間	3.8年	（最長 16年）			
年間入所	16名				
年間退所	17名				
主な入所理由	在宅生活が困難なため				
主な退所理由	死亡退所				

【施設運営状況】

- 1 特養、ショートステイが協働し、地域の居宅支援事業所との連携を深め、年間稼働率99.1%を達成しました。
- 2 前年度に続き、照明のLED化を実施しました。施設全体を快適な環境にするとともに、節電に繋がりました。
- 3 iPadの取り組み（業務の効率化、情報の共有化）を老人施設協議会全国大会で発表し、奨励賞を受賞しました。また新宿区において他の事業所の模範であると表彰されました。
- 4 地域包括ケアの一環として、包括支援センターと協働し認知症カフェ「カフェメモリー原町」を新宿区内の他事業所に先駆け展開しました。
- 5 サービス情報の公表制度、オンブズマン面談を実施し、施設をオープンにするとともに、利用者サービスの向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 やさしさを起点とした「介護」の考えのもと、その人らしい暮らしの実現のため、ケアプランの充実を図り、QOLの向上に努めました。
- 2 ご利用者、ご家族等の気持ちに寄り添った、看取りケアを実践しました。
- 3 胃ろう等の医療的介護ニーズに応え、ショートステイ利用者の受け入れ幅の拡大に努めました。

- 4 新たなボランティアの開発に努め、多種多様なボランティアの協力を得て、利用者満足の向上につなげました。
- 5 クラブ活動、カフェメモリー原町、個別外出等に取り組み、利用者の生活に潤いを提供しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
介護用ベッド	1,050		
購入等合計	1,050	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
改修工事計画	990		
購入等合計	990	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		改修工事計画	756
購入等合計	0	購入等合計	756
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		汚物処理室壁工事	1,836
		LED(1階, 地階) 工事	1,058
購入等合計	0	購入等合計	2,894

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	8	8	7	7	7	8	8	8
女性	42	41	43	43	40	42	43	43
合計	50	49	50	50	47	50	51	51

12月	1月	2月	3月	計
8	8	8	8	93
42	43	42	42	506
50	51	50	50	599

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成24年度				3	6	4	17	20	50
				40	193	108	212	551	1,104
平成25年度				1	5	3	21	20	50
		0	10	52	146	46	235	592	1,081
平成26年度					6	4	22	18	50
		10	0	39	140	11	236	707	1,143

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成26年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名 ゆたか苑

定員 50名

短期入所 専用 4名

空床利用 4名

利用者 年間稼働率 96.6%

（特養 97.8% 短期入所 80.8% 空床利用含む）

男女比率 1対9

平均年齢 88.5歳

（最高 102歳） 平均要介護度 4.3

（最低 71歳）

平均在所期間 4.6年 （最長 19年）

年間入所 9名

年間退所 6名

主な入所理由 在宅での介護困難、虐待等（措置入所）

主な退所理由 死去、長期入院等

【施設運営状況】

- 1 入所の迅速化を目指すとともに老人福祉法による措置入所者を受け入れ利用率向上に努めましたが、近隣の通所宿泊事業所拡大の影響を受け、短期入所生活介護の利用が伸び悩みました。
- 2 介護予防体操教室、栄養教室、ランチ交流会などの地域交流事業を実施し延べ200名以上の地域住民の参加がありました。
- 3 虐待防止委員会により日々のケアチェック態勢を構築し「不適切なケア」の予防を行い、接遇の向上に努めました。
- 4 「チューター制」を導入したほか、会議等でフロア間の業務改善や職員の育成状況について共有し、意見を出しやすい職場環境及びOJTの充実につながりました。
- 5 BCP（事業継続計画）に基づき、地域住民と合同で非常食炊き出し訓練を行ったほか、自治会や近隣施設との相互応援態勢を確認いたしました。

【利用者支援状況】

- 1 社会福祉法人の運営する施設として行政と協力し虐待や経済的理由で在宅介護が困難な高齢者を積極的に受け入れました。
- 2 提携する訪問歯科の協力のもと、口腔ケアについて用具整備や研修による技術向上の結果、誤嚥性肺炎が激減し、入院延べ人数が昨年に比べ激減いたしました。

- 3 利用者の要望に基づき、都内各地へ「日帰り旅行」を実施したほか、町会の敬老会や近隣の飲食店からの招待などにも参加するなど積極的に外出活動を行いました。
- 4 介護実習や小中学生などの職場体験などを積極的に受け入れ、地域の方に介護を身近に感じていただける取り組みを行いました。
- 5 ボランティアの拡大を目指した結果、地域の方々に加え、社会福祉協議会紹介のサークルや同区内の大学などからも多数のボランティアを受け入れることができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
玄関外構工事	1,000	電動ベッド更新(×4台)	977
ボランティア交流室流台改修	500		
車両購入	2,000		
購入等合計	3,500	購入等合計	977
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
電動ベッド更新(×8台)	2,160	玄関外構工事	993
購入等合計	2,160	購入等合計	993
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
屋上消火水槽改修	500	冷温水発生機緊急修繕	2,700
購入等合計	500	購入等合計	2,700
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		電動ベッド更新(×4台)	977
購入等合計	0	購入等合計	977

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	3	4	4	4	4	4	4	4
女性	45	43	44	46	45	44	46	46
合計	48	47	48	50	49	48	50	50

12月	1月	2月	3月	計
4	4	4	4	47
46	46	46	47	544
50	50	50	51	591

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成24年度	50	0	0	0	1	9	18	22	50
	24	8	15	121	258	370	609	651	2,032
平成25年度	49	0	0	0	1	7	19	22	49
	13	0	19	44	63	571	415	549	1,661
平成26年度	50	0	0	0	1	5	19	25	50
	30	0	100	186	26	48	481	338	1,179

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成26年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ひかり苑		定員	50名	
短期入所	専用	4名	空床利用	5名	
利用者	年間稼働率	99.4%			
	（特養	95.9%	短期入所	144.2%	空床利用含む）
男女比率	1対2.125		平均年齢	86.9歳	
	（最高	99歳）	平均要介護度	3.8	
	（最低	63歳）			
平均在所期間	4.1年	（最長	17.9年）		
年間入所	12名				
年間退所	12名				
主な入所理由	在宅生活困難なため家庭からの入所				
主な退所理由	死亡退所				

【施設運営状況】

- 1 法人理念と施設理念を常に念頭において、業務遂行に努めました。稼働率99.4%(前年度98.4%)でした。目標値(99.0%)を達成できました。
- 2 大規模災害時に要介護者等が避難するための施設として、東村山市と「福祉避難所の指定に関する協定書」の契約を締結しました。
- 3 地域との連携を強化するために、近隣自治会と話し合い認知症サポーター養成講座を実施したり、消防署の協力を得てAEDを使った救命救急講習を行いました。
- 4 老朽化対策の第一歩として空調設備の更新や、未実施であったガラス飛散防止フィルムを全館に貼付して安心安全な環境改善に取り組みました。
- 5 職員の資質向上を目的に、接客技術（サービスマナー）研修に重点的に参加して、職員全体の意識改革に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者本位を尊重し、利用者自らが主体的に生活ができるように、自立生活への支援を行いました。
- 2 利用者に快適な環境で生活していただけるように、不具合が多かった空調設備の更新と流れの悪かった居室用トイレを一部取り替えました。

- 3 「持ち上げない介護」を実践するために、福祉用具の活用を機能訓練指導員が職員に指導をして、安心して安全に移乗が出来るように努めました。
- 4 余暇活動（書道・手芸）や音楽療法、生活リハビリ等にボランティアや実習生を多く活用して、生活の質の向上を図りました。
- 5 食事を楽しんでいただけるように、利用者の出身地の郷土料理を毎月提供したり、バイキング形式（サンドイッチバイキング）を取り入れたり工夫をしました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
冷暖房設備改修	35,000		
購入等合計	35,000	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
窓ガラス飛散防止フィルム	2,000		
購入等合計	2,000	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		窓ガラス飛散防止フィルム	1,989
		冷暖房設備改修	31,320
購入等合計	0	購入等合計	33,309
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		居室トイレ改修	600
購入等合計		購入等合計	600

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	16	16	13	15	16	16	16	16
女性	34	35	35	34	33	34	34	34
合計	50	51	48	49	49	50	50	50

12月	1月	2月	3月	計
15	16	15	15	185
34	34	34	35	410
49	50	49	50	595

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成24年度	51	0	0	3	6	13	12	17	51
	177	0	7	122	311	518	235	439	1,632
平成25年度	51	0	0	1	5	13	17	15	51
	130	0	0	183	416	586	106	280	1,571
平成26年度	50	0	0	1	4	13	17	15	50
	179	5	0	353	182	955	442	169	2,106

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成26年度 事業報告書（認知症対応型共同生活介護）

施設名	かえで		定員	9名	
利用者	年間稼働率	90.7%	平均年齢	84.7歳	(最高 95歳)
					(最低 75歳)
	男女比率	3 対 1			
	平均在所期間	2.8年	(最長	4.8年)	
	年間入所	2名			
	年間退所	2名			
	主な入所理由	在宅介護の継続困難による			
	主な退所理由	療養機関への入院による			

【施設運営状況】

- 1 個別の認知症ケアの充実のため、職員個々のセルフチェックをおこない、チームでの支援体制の強化に努めました。
- 2 家族の集い（年2回）、運営推進会議（年6回）等を通じ、情報の提供及び発信を行いました。第三者委員会では、苦情や相談内容について報告し、透明性の高い施設運営に努めました。
- 3 施設開設後毎年継続受審している第三者評価では、ご家族、評価機関より高い評価を頂くことが出来ました。また地域民生委員や他施設の職員参加型の運営推進会議を開催し、より地域に密着した施設運営に努めました。
- 4 職員の各研修への参加と共に、サービスマナーへの取り組みや新たな行事等の企画を行いました。
- 5 昨年度より稼働率1.0%減となり、円滑な入退去が課題となりました。

【利用者支援状況】

- 1 職員会議やセルフチェック、第三者評価の受審による支援方法の見直しや、研修報告を通じ情報の共有に努めました。
- 2 全体での行事等の外出に加え、個別の買い物や外食等の機会を随時設けることが出来、ニーズの充足や日々の活動的な生活につなげる事が出来ました。
- 3 日々利用者と食事準備や喫食を共にすることで、日常的な調理や希望を聴く機会を作ることが出来ました。
- 4 基本的な生活リズムは守りつつも日課は最小限に留め、利用者それぞれのペースを尊重した支援を行いました。
- 5 様々なボランティアの活用、地域行事への参加、買物や理髪等の日常的な外出を通じ、地域との交流を行いました。また関連機関を通じ福祉を担う人材の育成にも努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計		購入等合計	0

年間利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	2	2	2	2	2	2	2	3
女性	7	7	7	7	7	7	5	5
合計	9	9	9	9	9	9	7	8

12月	1月	2月	3月	計
3	3	3	3	29
6	6	6	6	76
9	9	9	9	105

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成24年度	9	0	0	3	2	3	1	0
平成25年度	9	0	0	3	1	4	1	0
平成26年度	9	0	0	3	3	1	2	0

平成26年度 事業報告書（認知症対応型共同生活介護）

施設名	原町グループホーム		定員	18名	
利用者	年間稼働率	98.0%	平均年齢	85.1歳	(最高 99歳)
					(最低 74歳)
	男女比率	1対5			
	平均在所期間	1.7年	(最長 2年)		
	年間入所	1名			
	年間退所	1名			
	主な入所理由	在宅生活が困難になったため			
	主な退所理由	内科的病状に深刻な状況がみられたケースでの病院入院			

【施設運営状況】

- 1 認知症が進行し内科的病状にも深刻な状況がみられたケースでは、新たな取り組みとして認知症疾患医療センターと連携を図り対応しました。
- 2 退所者が1名ありましたが、小規模多機能居宅介護事業所を利用している方でグループホームに申し込みをしていた方が入所したため、スムーズな充足となりました。また、開設から2年を経過し、退所者が少なく安定したことにより、稼働率は年間を通じて+10%となりました。
- 3 26年度も第三者評価を受け高評価でした。また、管理者実習の実習生受け入れにより、開放的な当グループホームの姿を外部の方に見て頂けました。
- 4 認知症カフェとしての「カフェメモリー原町」に参加することで地域の方や他事業所の利用者と交流する事ができました。
- 5 初任者研修、認知症緩和ケアであるハプティックセラピー、認知症実践者研修などの外部の研修に参加したり、原町ホーム主催のOJTに参加機会を設け、職員の多様なスキルの開発・育成に努めた。

【利用者支援状況】

- 1 毎月行われるフロア会議内において、各ご利用者様へのサービスがより良いものとなるよう定例化して話し合う機会をもちました。
- 2 新宿社協を通じ、ボランティアの参加が始まり、26年度は、ご利用者のお楽しみ会にもボランティアの参加が拡大しました。
- 3 ご利用者に対するマナー（言葉遣い、態度など）について振り返る機会を設け、研修を行い、人権尊重の徹底を図りました。
- 4 パーソンセンタードケアの理念にしたがい、日々の共通日課は最小限にとどめ、ご利用者それぞれの要望・ペースを尊重した支援を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	3	3	3	3	3	3	3	3
女性	15	14	14	15	14	15	14	15
合計	18	17	17	18	17	18	17	18

12月	1月	2月	3月	計
3	3	3	3	36
15	11	15	15	172
18	14	18	18	208

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成24年度	0							
平成25年度	16			7	8	1	1	1
平成26年度	18			6	6	4	2	0

平成26年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員 **25** 名

利用者 年間稼働率 **67.6** %

男女比率 **1対12**

平均年齢 **83.9** 歳 （最高 **97** 歳） （最低 **67** 歳）

【施設運営状況】

- 1 営業地域拡大として立川の一部を営業地域とし、数名の利用者を受け入れることが出来ました。
- 2 昨年度から引き続き木曜日に行っている昭島病院理学療法士によるリハビリを、隔週で金曜日にも行うようになり、好評を頂いており、他の曜日の利用者からも希望が上がっています。
- 3 居宅周りや、あきしま地域ネットへの参加でケアマネや同業者との繋がりが出来、利用者紹介へと繋がっています。
- 4 職員の入れ代わりが多く、予定より少ない職員配置での運営が多く、なかなか研修への参加が出来ませんでしたが、個々が積極的に勉強をし、本年度も介護福祉士国家資格を2名受験、2人とも合格することが出来ました。
- 5 ボランティアを始め、近隣幼稚園・保育園との交流を行いました。交流を通して利用者の笑顔がたくさん見られました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の意思を尊重しながら自立支援をサポートし、顧客満足に繋げる事が出来ました。
- 2 個々の利用者ニーズを適切に踏まえた計画書に沿い、援助を行いました。
- 3 介護技術の確認作業を適宜行い、適切な介護技術を持って、個々に適した援助を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	97	109	105	96	94	87	104	78
女性	360	359	337	374	346	359	377	336
合計		468	442	470	440	446	481	414

12月	1月	2月	3月	計
80	75	82	69	1,076
324	309	295	339	4,115
404	384	377	408	5,191

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
24	介護	72	438	2,067	1,333	1,144	200	115	5,369
	送迎	144	876	4,134	2,666	2,288	400	230	10,738
	食事	72	438	2,067	1,333	1,144	200	115	5,369
	入浴	0	0	374	351	443	132	78	1,378
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
25	介護	23	425	1,910	1,303	884	806	180	5,531
	送迎	46	850	3,820	2,606	1,768	1,612	360	11,062
	食事	23	425	1,910	1,303	884	806	180	5,531
	入浴	0	7	350	570	193	610	102	1,832
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
26	介護	0	402	1,487	1,659	672	875	96	5,191
	送迎	0	804	2,974	3,318	1,344	1,750	192	10,382
	食事	0	402	1,487	1,659	672	875	96	5,191
	入浴	0	25	325	562	183	593	62	1,750
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成26年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 フジ・デイホーム

定員

10名

利用者 年間稼働率

67.7%

男女比率

6対1

平均年齢

78.7歳

（最高 100歳）

（最低 57歳）

【施設運営状況】

- 1 地域のニーズに応えるために地域の居宅介護支援事業所と連携を図ってきました。年間稼働率については長期入院や職員の欠員等が重なり、前年度72.9%から67.7%と目標に到達することはできませんでした。
- 2 利用されるご家族の介護負担軽減のため、ご利用者の心身状態に変化がみられた際、その他、必要に応じて報告や介護に関する相談を行い、ご家族の安心感や信頼関係の構築を行ってきました。
- 3 広報誌を発行するなど文書でも定期的に情報発信を行い、事業所の様子を知ってもらうことや、稼働率の向上に繋げるための取り組みを継続して行ってきました。
- 4 職員体制等の状況により外部研修の機会をつくることが困難でありましたが、職場内で緊急時対応の勉強会を行うなどして職員のスキルアップに努めてきました。
- 5 実習生の受け入れを通して、将来の福祉を担う人材育成に寄与してきました。

【利用者支援状況】

- 1 認知症対応型通所介護事業所として、ご利用者それぞれの認知症の症状に応じた支援を通して症状の緩和、ならびに心身機能の維持・向上を図ってきました。
- 2 小規模のメリットを活かして、その日のご利用者の希望や体調などを勘案したプログラムを提供するとともに、対話を通して認知機能の低下予防や孤立感の解消につなげてきました。
- 3 個別のアセスメントを職員がチームとして把握しながら、個々のご利用者に適したレクリエーションの提供を継続的に提供してきました。
- 4 現状のご利用者のニーズや心身機能を把握、またその変化をチームとして共有してサービスの質向上に繋げていくために定期的に個別のケース会議を開催して、それを通所介護計画書作成にも反映させてきました。
- 5 併設する特別養護老人ホーム、一般型通所介護事業所と共同でのイベントを実施するなどスケールメリットを活かした取り組みを行ってきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	45	40	41	31	34	30	35	30
女性	136	145	137	140	140	154	157	148
合計	181	185	178	171	174	184	192	178

	12月	1月	2月	3月	計
	22	21	18	15	362
	134	129	142	155	1,717
	156	150	160	170	2,079

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
24	介護	0	0	76	867	862	428	201	2,434
	送迎	0	0	76	867	862	428	201	2,434
	食事	0	0	76	867	862	428	201	2,434
	入浴	0	0	8	616	372	94	91	1,181
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
25	介護	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	送迎	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	食事	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	入浴	0	0	0	373	645	300	6	1,324
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
26	介護	0	0	0	434	797	482	366	2,079
	送迎	0	0	0	434	797	482	366	2,079
	食事	0	0	0	434	797	482	366	2,079
	入浴	0	0	0	252	576	398	142	1,368
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成26年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 原町デイサービスセンター

定員

12名

利用者 年間稼働率

59.7%

男女比率

7対13

平均年齢

87.3歳

（最高 99歳）

（最低 70歳）

【施設運営状況】

- 1 複合的にサービスを提供している原町ホームの強みを活かし、利用者のニーズに応じたサービスに結びました。
- 2 体験利用に関して迅速に対応し、サービス利用につながるよう取り組みました。
- 3 介護福祉士、看護師の実習生を受け入れ、現場における実践を体験していただき、後進の育成に寄与しました。
- 4 担当者会議に積極的に参加し、利用者の情報共有に努めるとともに、他の事業所との連携を強め、サービス利用への展開を図りました。
- 5 第三者評価を受審しサービスの内容を公開するとともに、サービスの向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 認知症の症状の緩和、身体機能の低下を防ぎ、在宅での生活が続けられるよう、音楽療法を中心とした活動を展開しました。
- 2 朝、夕のミーティングの内容を見直し、より正確にご本人の状態、ニーズを把握するように努めました。
- 3 地域のニーズ（重度の方、医療的介護ニーズの高い方）に十分に応えるよう取り組みました。
- 4 新宿区の道路状況（狭い、坂道が多い）を十分に踏まえた、安全安心な送迎に心掛けました。
- 5 複合施設の一角にあるメリットを活かし、小規模多機能、グループホームと音楽活動等を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	12	30	27	25	27	27	33	36
女性	168	170	171	153	146	160	168	147
合計	180	200	198	178	173	187	201	183

12月	1月	2月	3月	計
37	39	39	44	376
129	139	133	137	1,821
166	178	172	181	2,197

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
24	介護			127	209	637	579	1,127	2,679
	送迎			254	418	1,274	1,158	2,254	5,358
	食事			127	209	637	579	937	2,489
	入浴			127	209	601	579	937	2,453
	機能訓練								0
25	介護			75	269	174	429	818	1,765
	送迎			150	538	348	858	1,636	3,530
	食事			75	269	174	429	597	1,544
	入浴			75	227	174	429	597	1,502
	機能訓練								0
26	介護			181	265	226	672	853	2,197
	送迎			362	530	452	1,344	1,706	4,394
	食事			148	322	325	556	505	1,856
	入浴			177	260	219	635	791	2,082
	機能訓練								0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成26年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12名

利用者 年間稼働率 65.1%

男女比率 1対4.1

平均年齢 80.3歳（最高 99歳）（最低 63歳）

【施設運営状況】

- 1 法人理念と施設理念を常に念頭において、業務遂行に努めました。稼働率65.1%(前年度71.6%)でした。昨年実績を大きく下回ってしまいました
- 2 年度当初から利用者が定着せず、施設入所や入院された方が多く、新規契約が追いつかず稼働率が上がりませんでした。
- 3 認知症利用者に適切なサービスが提供できるように、外部研修に積極的に参加しました。
- 4 地域の小中高の学校と連携して、施設見学・職場体験学習、ボランティアの受入をして、地域に開かれた施設づくりに取り組みました。
- 5 安定したサービスを提供できるように職員全員で話し合い、チームワークを大切に運営に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の意思を尊重しながら、利用者のニーズを的確に捉えて、個々に適した援助を行いました。
- 2 今年度から余暇活動に陶芸を始めました。利用者さんに大変に好評ですばらしい作品が出来て、市の「手作り作品展」に出展しました。
- 3 晴れた日は毎日午後に外出したり、レクリエーションや余暇活動に、力を入れて顧客満足に繋がりました。
- 4 故障が多かった普通車を新車の福祉車両に入れ替えました。利用者の送迎が効率的に行えるようになりました。
- 5 地域住民や近隣の小中高生によるボランティア活動を充実させて、行事や余暇活動を楽しんでもらえるようにしました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
車両	3,000		
購入等合計	3,000	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		車両 LED照明工事	2,310 298
購入等合計	0	購入等合計	2,608

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	38	35	36	37	40	36	36	48
女性	166	161	164	173	173	164	156	121
合計	204	196	200	210	213	200	192	169

12月	1月	2月	3月	計
30	34	50	52	472
150	143	157	198	1,926
180	177	207	250	2,398

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
24	介護	0	0	547	529	525	590	118	2,309
	送迎	0	0	547	529	525	590	118	2,309
	食事	0	0	547	529	525	590	118	2,309
	入浴	0	0	297	245	126	382	110	1,160
	機能訓練	0	0	385	469	214	552	171	1,791
25	介護	0	0	241	865	670	787	83	2,646
	送迎	0	0	241	865	670	787	83	2,646
	食事	0	0	241	865	670	787	83	2,646
	入浴	0	0	121	246	356	419	40	1,182
	機能訓練	0	0	165	676	485	593	64	1,983
26	介護	0	0	362	343	577	926	190	2,398
	送迎	0	0	362	343	577	926	190	2,398
	食事	0	0	362	343	577	926	190	2,398
	入浴	0	0	195	118	308	341	136	1,098
	機能訓練	0	0	268	297	433	678	122	1,798

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成26年度 事業報告書（地域包括支援センター）

施設名 榎町高齢者総合相談センター

年間延実施状況
(相談件数)

	本人	家族等	関係機関	その他	合 計
相談件数	5, 102	3, 965	2, 354	1, 147	12, 568

【施設運営状況】

- 1 来所相談件数の1, 358件は、新宿区内の9箇所のセンターの中でも来所件数が多く、相談件数の中では、2号被保険者（40～64歳）の増加が目立ちました。
- 2 地域のネットワークを引き続き構築している。地域の会議や連絡会には55回参加しました。
- 3 地域への普及啓発活動も活発に行っており、介護保険制度の説明会や熱中症講座、認知症サポーター講座等、5回開催しました。（地域交流館、早稲田大学等）
- 4 新宿区の申請窓口としての業務を行っています。介護認定の申請や介護老人福祉施設の申し込みがその大半を占めますが、今年度は1, 192件の申請書の取り扱いを行いました。
- 5 予防居宅介護支援事業所として、要支援1・2の方に対する予防プラン作成を行いました。給付件数は2, 862件となりました（委託分を含む）。

【利用者支援状況】

- 1 権利擁護事業では、虐待の通報やセルフネグレクト、区長申し立ての法定後見人の相談が増えています。各機関と連携し迅速に対応しました。
- 2 経済的問題、相続問題等複雑な相談内容が増えていることから、各センターで月に1回弁護士相談があり、相談体制がより充実しました。
- 3 今後も増え続けていく認知症対策として認知症連携担当者を置いています。当センターでは毎月1回の認知症家族会が東地区での会場となり、その対応をしました。
- 4 医療連携担当を配置。各医療機関と居宅介護支援事業所との連携の橋渡し役を担っています。各病院、MSWとの交流会、連絡会等を企画、開催しました。
- 5 独居世帯と高齢者世帯とが半数を超える地域であるため、「高齢者見守り支えあい連絡会」を行い、地域の力となる様に、関係機関で、顔の見える関係の構築が出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成24年度	158	6,776	289	1,133	1,331	1,320	122
平成25年度	193	10,257	343	917	1,635	1,137	88
平成26年度	449	8,482	357	5,155	1,751	1,111	55

対象者年齢別内訳					
～64	～74	～84	～94	95～	不明
142	530	1,623	1,135	101	0
188	674	1,846	1,293	90	0
115	712	2,305	1,451	131	0

※相談件数は重複あり

施設名 昭島市中部地域包括支援センター あいぽっく

年間延実施状況
（相談件数）

	本人	家族等	関係機関	その他	合 計
相談件数	2,711	2,026	7,573	0	12,310

【施設運営状況】

- 1 地域包括ケア体制を担う相談機関となるよう、積極的に民生委員・老人会・自治会と連携してネットワーク作りを行いました。また介護事業所や民生委員を招いての地域連絡会を開催し、地域のネットワーク作りに取り組みました。
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心機関としての役割を果たすべく、民生委員や介護保険サービス事業所などとの連携構築に取り組みました。また虐待対応機関として、マニュアルに沿いながら、早期発見、対応に取り組みました。
- 3 社会福祉士・主任ケアマネ・保健師の三職種のみならず、市役所・昭島市の地域包括支援センターと定期的に会合を持ち、連携しながら、第5期昭島市介護保険事業計画に沿った計画実施に取り組みました。
- 4 生活機能の低下を予防するべく、適切なアセスメントを行うことをこころがけ、職員1人あたり、直営・委託を含め40件の介護予防プラン作成に関わっています。
- 5 季刊誌として広報紙の発行、老人会での講座の開催などを定期的に行い、市民に向けての情報提供、地域包括支援センターの周知に積極的に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 高齢者の在宅生活の継続を支援していくために、積極的に各介護保険サービス事業所と連携を取り、きめの細かいサービス提供に努めると共に、地域のケアマネジャーが担当している困難事例の相談を受けるなどケアマネ支援にも積極的に取り組みました。
- 2 高齢者の総合相談窓口として、多様な相談に対応するために職員の研修派遣、あきしまネットワーク各部会への参加を積極的行い、ワンストップで相談支援が行える体制づくりに取り組みました。
- 3 老人会や自治会などへ職員が定期的に赴き、各地域の高齢者の方々が必要としている情報提供を行うと共に介護予防の取り組みを行い、ネットワークを構築しました。
- 4 認知症の方々が地域で安心して生活して頂ける街づくりを目指し、認知症サポーター養成講座を警察、小学校、老人会などで開催しました。また、介護している家族に対して家族介護者教室、男性介護者の集いを開催し、介護技術の向上、交流機会を図りました。
- 5 ご利用者の相談に丁寧に耳を傾け、必要な方には自宅へ訪問し相談を受け対応しました。また老人会や自治会にも参加し積極的に地域のご利用者の声を拾うよう心掛けました。昭島市の取り組みである救急医療キットの配布にも積極的に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成24年度	52	3,023	3,365	1,081	1,096	1,426	12
平成25年度	62	3,248	3,398	1,135	1,278	1,374	39
平成26年度	101	3,159	3,638	1,279	1,377	1,630	30

対象者年齢別内訳					
～64	～74	～84	～94	95～	不明

※相談件数は重複あり

平成26年度 事業報告書（小規模多機能型居宅介護センター）

施設名	原町小規模多機能型居宅介護センター	登録定員	25名
利用者 年間稼働率	62.9%	通いサービス	15名
		宿泊サービス	5名
男女比率	3対7	平均要介護度	2.39

【施設運営状況】

- 1 利用者のニーズや希望に応えると同時に、安全にも配慮した介護を追求しました。認知症のBPSD（行動・心理症状）がある独居世帯の方であっても、健康状態とその人らしい生活環境の把握に努め、心身が安定して生活できるようケアすることに取り組みました。
- 2 新規利用者の方は独居世帯が多く、また高次脳機能障害、パーキンソン病など特定疾病による第2号被保険者の方にも対応しました。急性期病院からの退院支援も多く、小規模多機能サービスとともに住宅環境整備、在宅医療との連携も図りました。
- 3 利用者一人ひとりの日々変化するニーズに対応するため、「通い・宿泊・訪問」サービスを臨機応変に提供できるよう、運営基盤を整備。利用者のニーズに対し柔軟にサービスを提供し、利用者の在宅生活を支援しました。第三者評価においてはその柔軟なサービスと地域交流、運営推進会議での情報公開の取り組みなどが高く評価されました。
- 4 独自の研修プログラムや東京都小規模多機能協議会による小規模多機能基礎研修に参加しました。年間を通じてOJT、OFF・JTを実施。職員一人ひとりが確実に相談援助技術、介護力、チーム力を身につけ、多様なサービスが求められる小規模多機能業務に臨機応変に対応できるよう、育成しました。
- 5 施設入所、入院、死亡などにより26年3月末で登録19名、年間稼働率は前年の56%から62.9%となりました。利用者登録は上昇傾向にあります。小規模多機能からの施設入所に伴う退所支援、入院からの退院支援、末期がんの利用者の在宅での看取りを行うなど医療連携を行い地域包括ケアを実践しました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者のもてる力を見極め、少しでも自力で生活動作ができるよう、環境を整え、支援方法を考案し、職員で情報共有しました。また、個別に趣味や興味のあることを見つけてアクティビティとして提供し生活の幅が広がるよう支援しました。在宅生活の維持に対し訪問のニーズを捉え、なじみの地域で生活を支援することを重視してケアを行いました。
- 2 利用者個別に家庭環境を含むアセスメントを実施。通い・宿泊・訪問のサービスを提供できる強みを生かし、ケアマネジメント・ケアサービスを提供。家族が就業しながらの在宅介護を支援し、重度要介護者の自宅での生活を支援しました。
- 3 サービスを提供するための職員の知識・技能が標準化されるよう、手順化し個別に研修を行いました。また、利用者の個別情報やケアを行う際の方向性、考え方が職員間で共有されることを重要視し、そのための仕組みづくりを行いました。
- 4 スウェーデン式ハンドケア（ハプティックセラピー）を提供し、認知症の重度の周辺症状がある利用者の症状緩和を図ったり、夜間スムーズに睡眠導入できるように取り組みました。
- 5 カフェメモリー原町（書道、華道、手芸、リハビリ体操、ブンネ法）に参加し、地域住民との連携を図る取り組みを行いました。また、運営推進会議にて、原町小規模多機能の地域連携の取り組みを報告し、地域住民の方々の潜在ニーズの収集や意見交換を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	129	151	157	160	163	219	188	176
女性	308	321	299	275	251	218	309	366
合計	437	472	456	435	414	437	497	542

12月	1月	2月	3月	計
162	127	122	134	1,888
426	459	468	562	4,262
588	586	590	696	6,150

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
25	通い	17	140	183	236	801	666	163	2,206
	宿泊		26	68	161	361	366	51	1,033
	訪問		88	5		6		3	102
26	通い	29	44	656	821	677	1121		3,348
	宿泊	0	0	281	284	274	648		1,487
	訪問	67	116	453	530	144	7		1,317

3 障害者支援系福祉サービスの経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 加算等の給付収入の増加や基幹職員の育成を重点に取り組み、安定した事業運営に努めました。また、指定管理の更新や施設の建て替えについても円滑に遂行することが出来ました。
- 2 サービス等利用計画や個別支援計画を軸に、一人ひとりの希望する生活の実現や円滑なサービス利用に向けて支援に当たりました。
- 3 通常の新任職員研修に加えて、年4回の中堅職員の研修を実施しました。特に中堅職員については、自施設の課題や職員育成についての意見交換や交流を行い、グループ施設の情報の共有化を図りました。
- 4 ご本人の意思決定を尊重し権利擁護に基づくサービス提供を行いました。虐待防止について、グループ全職員による研修の実施や各施設単位での虐待防止マニュアルの作成に取り組みました。
- 5 大規模なグループホームについては、専任の責任者を一部配置し体制の強化を図り、安定した事業運営とサービスの質の向上に努めました。グループホームの増加に伴い、今後は全体のグループホームの運営の在り方についての検討が必要であることが確認されました。
- 6 災害時の事業継続訓練について、グループ内で訓練の見学等の情報交換も行い、各施設がより実践的な防災対策及び訓練に取り組みました。
- 7 自立支援協議会等や障害福祉計画の策定に参画し、地域の関係機関との連携を図りました。施設としてどのような社会貢献活動ができるか協議し、その一つとして各地域において身近な相談窓口としての役割を果たしていくことを確認しました。

1 障害者支援系施設

障害者自立支援法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行いました。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行いました。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図りました。

4 共同生活援助(グループホーム)

地域で共同生活を行うのに支障のない障害者の方を対象に、夜間や休日、共同生活を営む住居において、食事の提供、相談その他日常生活上の援助を提供します。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援します。

平成26年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	さやま園	施設入所支援	定員	96	名
		生活介護		96	名
		短期入所		4	名
		特定相談支援事業			名

利用者 年間稼働率	施設入所支援	91.6	%	平均障害程度区分	4.93
	生活介護	93.1	%		4.93
	短期入所	26.8	%		3.97

平均年齢	48.9	歳	（最高	71	歳）
			（最低	20	歳）

平均在所期間	19.9	年	（最長	50.4	年）
--------	------	---	-----	------	----

年間入所	6	名
年間退所	4	名

主な入所理由	介護力低下、家族の機能不全
主な退所理由	グループホーム移行

※入所支援

【施設運営状況】

- 施設入所支援と生活介護にサービスを整理した結果、市内からの入所者が17名に増え、地域ニーズに対して貢献することができました。また、新しいグループホームの開設には至りませんでしたが、サテライト事業を開始することができました。
- 消費税の増税は、大きく事業運営には影響せず、給付費やサービス推進費も加算請求も順調で、おおむね例年同様、順調に決算することができました。
- 防災計画では、東村山市消防署と連携し、防火安全対策連絡会の主催施設として、応援協定訓練の公開と市内福祉施設連絡会を開催し、大きな評価を受けました。
- 権利擁護委員会が主催して、「意思決定支援とは何か」という研修を実施しました。また、東社協の権利擁護委員会や強度行動障害指導者研修に職員を派遣し、実践の立場から権利擁護を考えました。
- リーダークラスに対して、シリーズで研修を行い、一定の評価と園内で実践できる新しい目標設定を勉強しました。また、近隣4施設でネットワークを組んで、地域移行について学習し、相互に職員交流を行いました。

【利用者支援状況】

- 園内のサービス等利用計画の作成状況は、約35%程度でした。これは、計画達成時期が次の受給者証発行月まで伸びたことも影響しており、丁寧な計画づくりを目指します。
- 非常勤職員や新人職員に対して、権利擁護の意識付けと虐待防止の意義を含めた研修を実施しました。また新たにアンガーマネジメントの手法も学びました。

- 3 日中活動の活性化を図るため、専従職員の配置を決め、プログラムの再構築を図りました。27年度に向けて基盤となる活動の基本が見えて、利用者の意欲や積極性を引き出すことができました。
- 4 エンジョイプロジェクト委員会を中心に、リハビリテーションプログラムを整理したほか、埼玉医大理学療法科との共同研究で、高齢知的障害者の運動機能の調査も行いました。
- 5 家族会と協賛して、50年の記録を映像でまとめることとし、専門家に依頼しました。一年間の行事やこれまでの歴史、職員のかかわりやグループホーム利用者へのインタビューなど、内容は多岐に渡っています。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
電気デマンド設置	1,500	電気デマンド工事	1,443
浴室改修工事	13,000	冷温水発生器不具合	564
ナースコール	4,100		
2階廊下冷房	600		
購入等合計	19,200	購入等合計	2,007
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
作業棟改修（製菓）	1,500	1F東トイレ改修	804
作業棟壁改修	2,000		
1階東トイレ改修	1,000		
1階西洗面所改修	3,000		
購入等合計	7,500	購入等合計	804
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
食堂エアカーテン	800	作業棟部屋改修工事	1,718
下駄箱改修	500	南棟放送設備工事	918
50周年記念行事	1,500	浴室改修工事	12,874
		1F西洗面所改修工事	1,944
		下駄箱・玄関前改修工事	750
購入等合計	2,800	購入等合計	18,204
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		廊下エアカーテン	486
		作業棟電気工事	827
購入等合計	0	購入等合計	1,313

年間利用状況（各月月初人員数）

施設入所支援のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	18	18	17	17	17	17	17	18
女性	78	78	78	78	78	77	77	78
合計	96	96	95	95	95	94	94	96

12月	1月	2月	3月	計
18	18	18	18	211
78	78	78	78	934
96	96	96	96	1,145

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

施設入所支援のみ

年度	実人員	年齢別内訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～
平成24年度	94	1	13	12	5	7	6	4	4	42
平成25年度	92	3	3	14	3	8	6	6	5	44
平成26年度	96	0	4	15	5	7	7	5	9	44

平成26年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	小茂根福祉園		生活介護	定員	40名
			就労継続支援B		30名
利用者	年間稼働率	生活介護	80.8%	平均障害程度区分	5.0
		就労継続支援B	97.4%		
	平均年齢		33.4歳	(最高	63歳)
				(最低	19歳)
	平均在所期間	12.5年	(最長	32年)	
	年間入所	3名			
年間退所	1名				
主な入所理由		特別支援学校卒業			
主な退所理由		施設入所			

【施設運営状況】

- 1 板橋区及び他の関係機関と連携し、利用者サービスの向上に努めました。第三者評価を受審し、特に人材育成と利用者主体の支援について、高い評価を受けました。
- 2 利用者による社会貢献活動の一環として、引き続き、赤い羽根の共同募金活動への参加や高齢者施設のボランティア活動を行い、社会参加を支援しました。
- 3 定期的に事業継続計画（BCP）訓練を実施し、適宜見直しを図りました。また利用者を交えた訓練を実施し、更に実行性のある訓練となるよう努めました。
- 4 生活介護と就労継続支援B型が運営面、支援面において有機的に連携することにより、一体的な施設経営につながりました。
- 5 職員個々の希望と能力に応じ、個別研修計画を立て、研修を実施しました。また、研修報告会も活発に行われ、職員満足の高い研修ができました。

【利用者支援状況】

- 1 権利擁護委員会が中心となり、「利用者の皆様への約束」として、職員の姿勢に関するスローガンを掲げ、職員間の周知徹底を図るとともに利用者の権利擁護と虐待防止に努めました。
- 2 日々の活動の中での選択肢を増やしたり、行事計画に参画することにより、利用者一人ひとりが意思決定をする機会を増やし、自主性や積極性が高まるよう支援しました。
- 3 企業との連携による清掃作業の有用性についての研究発表を行うことにより、内外にアピールし、定着を図りました。また自主生産品については、全国からの注文が増え、販路が拡大しました。
- 4 免荷式歩行器を導入することにより、職員の腰への負担が少なくなり、より多くの利用者に向けて歩行・立位の体験や訓練を実践することができました。
- 5 ボランティアの受け入れや実習生の受け入れを積極的に進め、交流を図りました。また近隣の中学・高校と連携し、ボランティアを通じた交流を深めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
屋上防水工事	10,314		
第三者評価費用	1,230		
購入等合計	11,544	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
印刷機購入	500	屋上防水工事	9,882
購入等合計	500	購入等合計	9,882
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
温蔵庫設置に伴う電気工事	1,000	温蔵庫購入	745
温蔵庫設置工事	1,000	温蔵庫設置工事	625
		第三者評価費用	1,030
購入等合計	2,000	購入等合計	2,400

年間利用状況（月間延人員） 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	497	459	497	503	428	466	495	428
女性	206	170	206	214	175	195	208	167
合計	703	629	703	717	603	661	703	595

12月	1月	2月	3月	計
431	425	420	487	5,536
188	193	188	203	2,313
619	618	608	690	7,849

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	38	1	14	5	8	3	5	0	0
平成25年度	36	2	10	8	7	5	4	1	0
平成26年度	38	1	12	8	7	5	4	1	0

年間利用状況（月間延人員） 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	309	302	314	321	289	302	301	261
女性	317	300	291	320	255	284	319	268
合計	626	602	605	641	544	586	620	529

12月	1月	2月	3月	計
288	278	273	320	3,558
293	290	272	334	3,543
581	568	545	654	7,101

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	30	1	9	4	2	0	1	6	7
平成25年度	32	1	6	8	2	1	0	5	9
平成26年度	34	2	7	7	2	2	0	5	9

平成26年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	立川福祉作業所 生活介護	通所定員	30	名
	就労継続支援B		35	名
	就労移行支援		10	名

利用者 年間稼働率	生活介護	85.9	%	平均障害程度区分	3				
	就労継続支援B	94.8	%						
	就労移行支援	92.6	%						
	平均年齢	33.7	歳	（最高	60	歳）			
				（最低	19	歳）			
平均通所期間	13.2	年	（最長 40 年）						
年間入所	9	名							
年間退所	4	名							
主な入所理由	特別支援学校卒業後の進路として就労継続支援B型を希望								
主な退所理由	企業就労・施設移管								

【施設運営状況】

- 平成26年4月の特別支援学校卒業生より8名の新入所者を迎え、利用定員を3名超えた78名で運営を開始した他、年末年始以外の土曜日と祝日の開所実績により、稼働率の維持・向上を目指しました。
- 利用者の通所予定（月間）や参加する活動を全て自己決定とし、意思決定支援に注力しました。また、虐待防止については、事業所専用のマニュアルを制作し、虐待防止委員会を設置した他、全ての職員を対象とした研修会を開催し、広く虐待防止の理念を周知することに努めました。
- 建替え工事に先立ち、平成26年9月末日に営業店舗「ベーカリー＆カフェBAKU BAKU」は一時的閉店としましたが、地域の関係機関（立川観光協会・商工会議所・立川南口商店街）との協働体制を維持し、地域振興や街づくりに参画しました。
- 幅広い地域のニーズを捉え、立川市自立支援協議会・立川市施設交流連絡会と緊密に連携しながら、各種協議や研修の場を通じて地域福祉の推進に努めました。また、柴崎町防災訓練に参加し、災害時における連携体制を整えました。
- 平成26年11月1日から2日に仮設事業所への安全・円滑な移転を終了しました。改築工事中の事業所についても、ご利用者の安全な生活と、効率的な作業環境を実現できるように作業所内に専門委員会を設置している他、法人施設部と共に設計段階から綿密な確認を行っています。

【利用者支援状況】

- 多機能事業所の特性を活かし、利用者個々の障害特性・年齢・環境を踏まえたうえで個別支援計画を作成し、本人のニーズに合わせた活動の場を提供しています。
- 個々のケース担当からの支援以外に、内科健康相談と精神科相談を実施し、利用者の状況把握に努めています。また、利用者の会など、利用者自身の立場で発言したり、自発的な行動が出来るような活動場面を設けています。
- 効率よい作業環境を目指すと共に、利用者自身が主体的に作業参加し、個々の目標達成を実現することにより工賃アップにつなげていけるように、計画的な支援と作業指導を行いました。
- 就労移行支援においては、情報提供や体験の機会を設けた以外に、利用者個々の就労意識を高めるため、自己を振り替える事が出来る仕組みの確立を目指しました。また、ハローワークのみならず、地域の自立生活センターと連携し、専門性ある支援を行いました。
- 仮設事業所への移転に際しては、事前に準備期間を設けて、立川駅等から仮設事業所までの通所訓練を行いました。また、移転後も通所経路の見守り支援を約3週間継続し、無事故で安全な移行を実現しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
空調機修理	500		
購入等合計	500	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
建物仮設工事	137,000	建物仮設工事	70,001
建物解体工事	42,160	建物本体工事	1,222
購入等合計	179,160	購入等合計	71,223
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		建物本体工事	18,125
		地下解体工事	51,122
購入等合計	0	購入等合計	69,247

年間利用状況（月間延人員） 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	20	20	20	20	20	20	20	19
女性	12	12	12	12	12	11	11	11
合計	32	32	32	32	32	31	31	30

	12月	1月	2月	3月	計
	18	19	19	19	234
	11	11	11	11	137
	29	30	30	30	371

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

生活介護

		年齢別内訳							
年度	実人員	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	30		3	2		4	4	3	14
平成25年度	30		1	4		4	3	5	13
平成26年度	30	0	3	3	1	4	2	5	12

年間利用状況（月間延人員） 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	28	28	28	28	28	28	28	28
女性	8	8	8	8	8	8	8	8
合計	36	36	36	36	36	36	36	36

	12月	1月	2月	3月	計
	28	27	27	28	334
	8	8	8	8	96
	36	35	35	36	430

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

就労継続支援B

年度		年齢別内訳							
年度	実人員	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	36	3	12	3	5	7	1	2	3
平成25年度	32	4	10	5	4	5	1	1	2
平成26年度	35	8	7	8	4	5	1	1	1

年間利用状況（月間延人員） 就労移行支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	5	5	5	5	5	5	5	5
女性	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	10	10	10	10	10	10	10	10

	12月	1月	2月	3月	計
	5	5	5	5	60
	5	5	5	5	60
	10	10	10	10	120

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

就労移行支援

年度		年齢別内訳							
実人員	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～	
平成24年度	10	1	8	1					
平成25年度	10	1	6	1	1	1			
平成26年度	10	0	7	2	0	1	0	0	

平成26年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	東村山生活実習所 生活介護		通所定員	30	名
	就労継続支援B			10	名
	短期入所			2	名
利用者 年間稼働率	生活介護	91.5	%	平均障害程度区分	5.3
	就労継続支援B	112.9	%		
	短期入所	34.1	%		5.2
	平均年齢	35.9	歳	(最高 65 歳)	
平均通所期間	5	年	(最長 9 年)		(最低 21 歳)
年間入所	0	名			
年間退所	1	名			
主な入所理由					
主な退所理由	他施設へ移動				

【施設運営状況】

- 1 障害者総合支援法をはじめ、虐待防止法、国連障害者権利条約などで規定された障害を持つ方々の人権擁護等の理解に努め、常に利用者の視点にたったサービスの提供に努めました。
- 2 稼働率約9割を超え、利用料その他の補助金等については、過不足なく収入として得られた。一方、支出に関しては、効率的、効果的な支出を心がけ、無駄な支出がないよう適切に執行しました。
- 3 災害時の事業の継続に関して、利用者の方々（保護者等）とともに考え、必要な対策を講じるよう基本的な体制づくりを行いました。
- 4 地域の作業所等と連携した福祉ネットワークや、社協が核となった福祉施設連絡会への参加、また市の自立支援協議会の立ち上げへの協力を通して関係機関との連携が深まりました。
- 5 サービス管理責任者や実習を受け入れるための指導者研修など事業に必要な資格についての研修等について、計画的に取得することができました。

【利用者支援状況】

- 1 相談支援事業が本格的になり、ニーズの把握や必要な支援について、他の相談事業所とケース会議等を行うことが出来、あらためて支援内容の確認ができました。
- 2 虐待防止マニュアルの作製と普段の支援に関しての振り返りチェックなどを行い、適切な支援に関して、個々に振り返ることができました。
- 3 災害時の利用者個々の安全対策について必要事項をまとめ、危機管理体制に役立てるよう準備しました。
- 4 障害の重度化、多様化に合わせて、支援技術の向上、特に介護技術等に関して必要な研修を行いました。
- 5 就労継続支援については、販路が広がり、商品も多様になってきました。利用者も自分たちで設定した月間の売り上げ目標を励みに、よく個々に働いており、満足した1年でした。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
		玄関屋根補修	648
購入等合計	0	購入等合計	648
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
玄関屋根補修	630		
購入等合計	630	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（月間延人員）生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	315	302	319	336	317	301	327	270
女性	260	259	269	293	273	252	286	218
合計	575	561	588	629	590	553	613	488

12月	1月	2月	3月	計
286	281	289	334	3,677
208	210	229	266	3,023
494	491	518	600	6,700

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	31	2	3	5	2	5	4	6	4
平成25年度	30	0	5	4	2	3	6	5	5
平成26年度	29	0	4	3	2	3	7	3	7

年間利用状況（月間延人員）就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	77	77	80	83	68	74	83	68
女性	162	151	166	166	151	155	163	148
合計	239	228	246	249	219	229	246	216

12月	1月	2月	3月	計
68	71	65	62	876
147	147	148	175	1,879
215	218	213	237	2,755

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	13	1	2	2	1	1	2	1	3
平成25年度	12	0	5	1	1	2	0	1	2
平成26年度	13	1	5	0	2	2	0	0	3

平成26年度 事業報告書（心身障害者福祉ホーム）

施設名 **さくらんぼ**

事業名

長期自立支援事業

利用実人員 **5** 名
年間延人員 **1,032** 名

年齢
最高 **52** 歳
最低 **23** 歳
男女比率 **2対3**

事業名

短期自立生活訓練事業

利用実人員 **78** 名
年間延人員 **875** 名

年齢
最高 **66** 歳
最低 **19** 歳
男女比率 **1.2対1**

事業名

緊急一時保護事業

利用実人員 **32** 名
年間延人員 **116** 名

年齢
最高 **59** 歳
最低 **20** 歳
男女比率 **1.2対1**

事業名

レスパイト

利用実人員 **55** 名
年間延人員 **222** 名

年齢
最高 **59** 歳
最低 **22** 歳
男女比率 **1.4対1**

事業名

移動支援事業

利用実人員 **21** 名
年間延人員 **193** 名

年齢
最高 **74** 歳
最低 **26** 歳
男女比率 **1対2.5**

【施設運営状況】

- 1 長期自立援護を利用されている方の望むグループホームへの移行のために、区を中心とした関係機関との連携・情報共有・収集を密に行い、実現に向けての体験入寮などを積極的に実施しました。
- 2 緊急一時、レスパイト、短期利用者など、多種多様なニーズに対応できる人材育成のために、各研修への参加やチームアプローチによるOJT等を行い、支援者のスキルの向上に努めました。
- 3 居住の場として安全かつ安心して生活できるように、照明のLED化、2F女子トイレの改修工事等を行い環境の整備に努めました。また、災害時への対応としてBCP訓練を実施し、マニュアルの見直し等を行いました。
- 4 豊島区の「障害者虐待対応機関連絡会」に参画し、区内での虐待状況を把握するとともに、虐待と思われるケースには迅速な対応が出来るように内部研修等を実施しました。また、職員一人ひとりの意識向上への検証も行いました。
- 5 豊島区障害者地域支援協議会の相談部会に参加し、サービス等計画の在り方、位置付けが、一人ひとりの望む地域生活が営まれるような計画となるように検討するとともに、全体周知が図れるよう共働して取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 調理自立援護利用者の中で、グループホームへの移行を具体化する方が2名おり、ご本人の意思を確認しながら見学、体験入寮、家族、CWとの話し合い等を繰り返し実施してきたことで、年度途中でグループホームの入寮へと繋ぐことが出来ました。
- 2 個別支援計画の作成時に一人ひとりの希望や目標を明確にするとともに、家庭状況の把握をすることで、緊急時への柔軟な支援体制と迅速な対応を行い、セーフティネット（ファミリーサポート）としての機能が十分に発揮できるように取り組みました。
- 3 ご利用者が居心地良く生活できるように、整理整頓に心掛け清潔な環境作りを行いました。また、生活の場として、花を飾るなど、季節感のある家庭的な雰囲気作りに努めました。有事への対応として、職員の危機意識への向上と訓練を通しての改善を図ってきました。
- 4 特別事業枠の方、新規利用の希望のある方などに対し、嘱託医、看護師との連携を密にし、医療情報・本人の身体状況等を共有化することで、安心して利用できるように努めました。
- 5 よりみちの会、さくらんぼ祭などの行事に招待し、余暇支援としてのアフターフォローの充実を図りました。また、電話や来園時の相談を都度行い、現状を確認しながら地域生活が楽しく継続できるように取り組みました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
		2. 3階LED照明	378
購入等合計	0	購入等合計	378
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
2階女子トイレ改修	500	監視カメラ設置	378
購入等合計	500	購入等合計	378
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		2階トイレ改修	445
		電話設備	961
		避難口誘導灯	702
購入等合計	0	購入等合計	2,108

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	利用人員							
	親なき後対策		緊急一時保護		短期自立訓練		レスパイト	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成24年度	5	702	37	613	81	893	57	228
平成25年度	4	1,080	33	281	78	894	60	232
平成26年度	5	875	32	116	78	875	55	222

平成26年度 事業報告書（身体障害者福祉センター）

施設名 **さいわい福祉センター**

	事業名	平均 年齢	年齢		男女比	
			最高	最低	男	女
自立支援 事業	地域活動支援センター	21.0	22	20	1	1
	生活介護・就労移行	28.0	35	20	1	1
	身体機能訓練	36.0	70	18	1	1
介護支援 事業	都型ショート	30.0	49	4	1.3	1
	日中一時支援事業	—	49	4	1.3	1
	入浴サービス	35.0	57	20	1	1.5
居宅生活 支援事業	移動支援・同行援護	48.5	86	11	1	2
	居宅介護支援	49.0	65	42	2	1

障害者地域自立生活支援事業

相談内容	件数	利用者内訳	件数
相談事業（一般）	165	身体障害	58
特定相談	135	知的障害	225
就労支援（生活支援）	147	その他	57
〃（就労支援）	925		
計	1,372	計	340

【施設運営状況】

- 各事業の施行基準に基づき必要な職員体制を整えて事業運営にあたり、効率的な経費の執行を行いました。また、今後の各事業の制度変更や資格要件の変更などにも対応でき、安定した事業の継続が可能となるような体制づくりに努めました。
- 施設整備は、送迎バスや浴室関連機器等、必要な修繕について迅速に対応し市民サービスに支障のない様に努めました。エレベーターの大規模修繕について、所管課と修繕計画を協議し市の担当部署に提案しました。
- 大震災訓練を繰り返し行い、課題の整理や必要備品の購入を行い、実効性の高い防災対策を講じました。特に、2階からの車いす利用者の避難については、簡易担架による避難を実施したり、ホールでの要援護者受入れのシュミレーションを確認するなど、災害時の避難対応をより具体化しました。また、職員の参集訓練も行いました。
- 東久留米市の施設使用料の変更に伴い、10月より利用料の収受事務を委託されました。担当課と事前の協議及び利用者説明を十分に行い、市民の協力のもと混乱もなく実施できました。
- 介護スキル研修、虐待防止研修など様々な研修の機会を利用し、職員の資質向上を図り、事業運営上必要な資格取得にも取り組みました。また、人材の確保として、リフターなどの福祉機器を積極的に活用して職員の介護負担の軽減を図りました。

【利用者支援状況】

- 合理的配慮の取り組みとして市民向けの夜間の手話講習会を開催し手話の普及と聴覚障害者の理解の促進を図りました。また、職員も受講し、障害特性の理解につなげました。
- 特定相談事業は、契約件数も伸び、市内在住に限らず遠隔地の施設利用者からの希望にも応え、ご本人との面談による丁寧なサービス等利用計画の作成に取り組みました。

- 3 生活介護事業では、医療スタッフによる支援の必要度が高くなり、急変に対応できるよう常時看護師を配置して支援にあたりました。日中一時支援事業の医療ケアについては、受け入れ体制に多くの課題がみられ慎重な対応が求められています。
- 4 庁舎内実習や清掃業務請負により職場体験実習の場が広がり、利用者の就労意欲の向上につながりました。また、市内就労支援事業との情報交換会や企業との合同研究など、新しい地域との協同やネットワークが形成されました。
- 5 自立支援協議会の委員として第4期障害福祉計画の作成に参加しました。また、相談部会にも参加し、センターの情報発信不足や就労支援や相談事業への期待値の高さを再確認するとともに、具体的な利用者ニーズとセンターの役割を学ぶ機会となりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
		吸収冷温水機薬品洗浄	424
購入等合計	0	購入等合計	424
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
吸収冷温水機薬品洗浄	500		
購入等合計	500	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
非常用発電機改修工事	530	入浴用リフト	491
購入等合計	530	購入等合計	491
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
入浴室改修工事（協議）		送迎バスリフト修理	554
		床走行式リフト	488
購入等合計	0	購入等合計	1,042

利用者状況推移（各年度延人員）

年度	自立支援事業				介護支援事業			
	知的訓練		身障機能		ショート・緊急		入浴	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成24年度	4	803	14	319	87	2,179	10	405
平成25年度	3	953	14	347	81	2,228	11	426
平成26年度	2	480	19	350	99	2,214	12	455

年度	居宅生活支援事業				育成事業			
	生活介護/就労移行		ヘルパー		グループ育成		講座・講習	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成24年度	9	2,258	24	1,049	94	1,259	101	1,023
平成25年度	13	2,377	23	1,281	113	1,232	63	961
平成26年度	14	3,033	22	1,287	100	1,170	97	1,728

平成26年度 事業報告書（共同生活援助事業）

施設名 **アミニティ富士見**

定員

43 名

利用者 年間稼働率 **98.5** %

【施設運営状況】

- 1 利用者の1人暮らしへの支援として、東大和市内において11月にサテライト型グループホームを開設しました。現在、1人暮らしを強く希望している利用者が入居しています。このサテライト型グループホームで1人暮らしに近い環境の中、実践的な取り組みが可能になりました。
- 2 清瀬市にあるファーム竹丘1、ファーム竹丘2に平成27年2月に水道直結型スプリンクラーの設置を行いました。設置には、グループホーム防災対策助成事業の補助金を活用しました。今後も消防法を注視し、各ホームにおける防災設備の設置を進めます。
- 3 3月にアミニティ富士見の移転を行いました。移転前は、老朽化や利便性の課題が顕著でした。今回の移転により利用者の方への快適な住環境を提供することができました。また高い利用者満足にもつながりました。
- 4 新たなグループホームの開設に向け取り組みました。しかし最適な土地が見つからないことや建築基準法での設置基準の高さなどの理由により開設には至りませんでした。これからも開設に向け計画を進めていきます。

【利用者支援状況】

- 1 意志決定支援への取り組みの一環として、成年後見制度の活用を促進しました。後見人等による積極的な権利擁護活動により、一層の利用者主体のサービスに繋がりました。
- 2 各グループホーム利用者のサービス等利用計画の作成を進めました。地域の特定相談支援事業所に計画の作成依頼が殺到している為、大幅に遅延しています。作成については、今後も引き続き丁寧に進めます。
- 3 各ホームの世話人を複数人体制にしました。これによりチーム力支援を可能にし、また複数の目による業務の相互牽制が可能になりました。これらの取り組みにより、支援力の強化や業務改善、利用者の権利擁護につながりました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	41	0	3	11	5	4	5	6	7
平成25年度	42	0	2	11	8	3	5	5	8
平成26年度	43	0	2	9	5	7	6	4	10

平成26年度 事業報告書（共同生活援助事業）

施設名 レヂオンス巣鴨

定員

12名

利用者 年間稼働率 100.0%

【施設運営状況】

- 1 障害保健福祉施策によるグループホーム・ケアホームの一元化、福祉サービス等報酬改正などに対し、加算申請を行うなど迅速且つ適切に対応し、安定した運営に努めました。
- 2 管理者・サービス管理責任者を中心に、世話人会を毎月実施し、利用者の支援状況等の確認、次年度の消費税増額による利用者負担金の影響等を検討しました。また、ケース記録、サービス提供記録、帳簿等を見直し共通様式にしました。
- 3 法改正により新設されたサテライト型グループホームの検討も行ってきました。設置場所・支援体制の構築、利用者の選考など、今後も生活の場所の確保に向けた検討を重ねていきます。
- 4 世話人の変更等に対し、グループホームの支援に入る前にさくらんぼ事業での研修を行い、世話人としての心構えや支援の在り方、権利擁護と利用者主体の支援などを伝え、世話人の育成に努めました。
- 5 年2回の防災訓練を実施し、災害時の避難方法、避難場所を明確にし、安全に避難できるように取り組むとともに、防災意識の向上を図りました。また、防災備品（非常食）の補充等も行いました。

【利用者支援状況】

- 1 個別支援計画の作成に当たり、出来る限りご家族にも参加いただき利用者一人ひとりのご希望に沿い、日中活動や余暇など楽しい生活が継続できるように取り組みました。
- 2 家庭的な環境、雰囲気大切に、利用者が主体的な生活が送れるように努めました。特に食事・買物等では個々人の希望に沿った個別対応と全体での外出等を実施し、和やかな関係性が維持できるように取り組みました。
- 3 利用者の高齢化に伴い、高齢者デイサービスを利用するなど、サービス提供の枠を広げ提供しました。定期通院の他、突発的な通院などさくらんぼ職員による付き添いなどの支援も多く、柔軟な支援に努めました。
- 4 災害時の訓練を行うことで、防災への意識をそれぞれが持てるように、また、改善点などを洗い出し、安心して避難できるように取り組みました。
- 5 通所先・就労先・病院などとの連携を図り、ご家族とその都度連絡を取ることでトータル的な支援を行いました。また、GHの利用者、世話人、さくらんぼの職員との親睦も兼ね、交流会も実施しました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	12				1	1	3		7
平成25年度	12				1	1	2	1	7
平成26年度	12				1		2	2	7

平成26年度 事業報告書（共同生活援助事業）

施設名 夢オハナ

定員

12名

利用者 年間稼働率 99.3%

【施設運営状況】

- 1 障害者総合支援法における生涯視野保健福祉施策に対応し、適切且つ安定した運営を目指しました。
- 2 ケアホーム・グループホームの一元化にともない、これまで以上に豊かな生活が送れるよう支援体制を整えました。
- 3 地域生活を促進するために、グループホームの新設を目指しましたが、規制が強化される設置基準を満たす物件を見出し計画化することが出来ませんでした。
- 4 障害者権利条約の批准に伴い、人権、自己選択など、利用者の尊厳を尊重した支援を強化するとともに、障害者虐待防止法の施行に伴う研修や勉強会に参加し、世話人等の意識改革とサービスの向上を目指しました。
- 5 防災対策を見直し、利用者が安全・安心に生活できる環境を整えた他、防災訓練を実施し、防災に対する意識を高めました。

【利用者支援状況】

- 1 本人の望む生活が送れるように、個々の思いを個別支援計画に反映させ、支援しました。
- 2 家庭的な環境、雰囲気づくりを大切にし、和やかで楽しい生活が送れるように支援しました。
- 3 生活する上での様々な情報を提供し、社会資源を積極的に活用しながら充実した生活が送れるように支援しました。
- 4 防災訓練を充実させ、災害時における安全な避難方法を理解していただき、安心して生活できるように支援しました。
- 5 近隣、地域と積極的にかかわり、地域の理解を広め、利用者が当たりまえに地域住民として生活できるように地域との関係性を築きました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成24年度	12		3	6	1		1		1
平成25年度	12		3	6	1		1		1
平成26年度	12		3	6	1		1		1

4 児童・女性支援系福祉サービスの経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 利用者の意向を尊重した自立支援計画に沿い、適切な支援を行って参りました。また、関係機関と協力し、都営住宅・民間アパート・グループホーム等、地域での生活につなげています。
- 2 新任職員向けの「接遇研修」、中堅職員への「支援力向上研修」、更には「主任、副主任研修」と、各階層別の研修を行い、人材育成と組織力向上につなげました。
- 3 グループ内外の施設間交流研修は、他施設の機能や支援方法など、多くを学ぶ機会になっております。また、研修報告書を見直し、自施設の支援に活かす取り組みにつながりました。
- 4 適切な支援記録の作成を目指した「記録の取り方検討会」では、利用者の人権やプライバシーに配慮した「記録の取り方マニュアル」の作成につながりました。このマニュアルは次年度より使用して参ります。
- 5 施設の機能や情報を地域に提供し、地域拠点としての役割を担って参りました。更に、地域で生活する児童や女性への支援方法を検討しました。
- 6 第三者評価の受審は、施設運営の点検と利用者ニーズの再確認になっております。実施結果は次年度の事業計画に活かすことが出来ました。
- 7 利用者の安全・安心を守るべく、防災訓練や震災時のBCP訓練を実施すると共に点検見直しを行いました。また、DV被害者の安全を図るため、地域の警察等関係機関とも常に連携を図りました。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援しました。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、被虐待児、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援しました。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行いました。

4 児童厚生施設・放課後児童健全育成事業

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営しました。
また、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に児童センターを利用できるよう、学童クラブを運営し健全な育成を図りました。

平成26年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ武蔵野	定員	20	世帯
		短期・緊急一時	1	世帯
利用者 年間稼働率	92.0	%	入所	92.0
			短期・緊急一時	55.6
平均在所期間	1.6	年	（最長	4
				年）
年間入所	8	世帯	18	名
年間退所	14	世帯	32	名
主な退所先	民間賃貸住宅、公営住宅			

【施設運営状況】

- 1 研修、人事考課等を活用し、職員が業務改善、遂行に取り組み、関係機関とも連携を進めることで利用者の自立を支援しました。
- 2 定期的にヒヤリハットを共有し、対策を立てることで、利用者により安心・安全な環境を提供できました。
- 3 記録の取り方検討会に参加し、支援に活かす記録の取り方をまとめたマニュアルを完成させました。来年度からマニュアルに即した記録の取り方に取り組みます。
- 4 緊急一時保護の利用者は毎年増加しています。利用者状況に合わせてマニュアルを見直し、備品を充実させることで、利用者が安心して過ごせるようになりました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の人権を尊重し、日常的なコミュニケーションや面談の場を通してその意向を汲み取り、自立に向けて支援しました。契約期間満了を目途とし、14世帯が公営住宅、民間賃貸住宅に自立しました。
- 2 2年間の利用期間を見据えた具体的な目標を利用者自らが設定できるよう、定期面談で共に課題を整理しました。特に今年度は入所2年目を迎えた利用者が多く、目標に沿って計画的に自立できるよう関係機関と連携し、支援しました。
- 3 多様化する利用者の要望を聞き取り、必要な支援を行いました。特に幼児世帯には、就労支援の一環としての補助保育や休日保育の他、リフレッシュのための保育の要望にも対応しました。
- 4 学童は年齢に合わせて個別に対応しました。学習支援・その他生活支援以外にも高年齢児にはアルバイト探しやその後の継続を支援し、大学進学に向けた相談や助成金の申請など、進学へのサポートも行うことができました。
- 5 退所者に向けては、就労支援としての病児保育や、退所先訪問による聞き取り、相談を行うなど退所後も地域生活への移行期間ととらえアフターケアを行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
心理室防音扉設置工事 避難経路照明増設	1,600 500		
購入等合計	2,100	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		避難経路照明増設	478
購入等合計	0	購入等合計	478
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		心理室防音扉設置工事	753
購入等合計	0	購入等合計	753

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
世帯数	20	20	20	20	20	20	20	18
児童数	28	26	27	26	26	26	27	24
合計	48	46	47	46	46	46	47	42

12月	1月	2月	3月	計
19	17	17	16	227
25	22	22	21	300
44	39	39	37	527

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成24年度	3	6	9
平成25年度	4	7	11
平成26年度	4	6	10

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
7	13	20	10	29
16	21	37	20	48
12	15	27	16	37

平成26年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ青山		定員	20	世帯
			短期・緊急一時	1	世帯
利用者 年間稼働率	64.6	%	入所	64.6	%
			短期・緊急一時	13.7	%
平均在所期間	4.2	年	（最長	12	年）
年間入所	2	世帯	4	名	
年間退所	8	世帯	17	名	
主な退所先	都営住宅・民間アパート（マンション）・海外移住				

【施設運営状況】

- 1 安心・安全・快適な生活環境を確保するため、3部屋の居室修繕及び浴室1カ所の壁面改修を行ないました。
- 2 関係行政機関と連携の充実を図りましたが、施設ハード面などから新入居は2世帯に留まりました。
- 3 緊急一時保護利用は、相談支援のみで利用に繋がらず、利用率が低い一因となりました。
- 4 心理相談員と情報の共有化を図り、利用者の心理特性を理解した結果、利用者の自立支援（退所）及び職員のモチベーションアップにつながりました。
- 5 地元町会への施設開放や行事（夏祭り・年末夜回り）の共同開催、地域の大手企業とネットワーク強化を図るイベント（餅つき）を開催しました。

【利用者支援状況】

- 1 行政・関係機関と連携した自立支援を提供した結果、8世帯が地域社会で自立生活を営むため転宅しました。
- 2 必要に応じて、心理相談員による専門的な見立てをするため、WISC-IV（知能検査）を導入して、適切な相談援助（母子の心身安定）につなげました。
- 3 バザー収益を活用した行事企画（新年会）の実施。適宜、寄贈品提供は生活の安定と潤いとなりました。
- 4 行政・関係機関などへの助言・相談により、適切な時期に適切な地域への転宅支援につながりました。
- 5 8名の退所世帯全員にアフターケアを実施しましたが、課題を抱えている世帯に対しては社会資源を活用するため、複数回の訪問支援を実施しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
利用者居室修繕	500	利用状況により未実施	
購入等合計	500	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
利用者居室修繕	500	307号室・405号室内装修繕	598
購入等合計	500	購入等合計	598
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
利用者居室修繕	750	402号室・浴室壁面修繕	535
購入等合計	750	購入等合計	535
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
利用者居室修繕	750	利用状況により未実施	
購入等合計	750	購入等合計	0

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
世帯数	16	15	16	16	15	14	13	12
児童数	19	18	19	19	18	17	16	15
合計	35	33	35	35	33	31	29	27

12月	1月	2月	3月	計
11	9	10	10	157
13	11	12	12	189
24	20	22	22	346

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成24年度	5	5	10
平成25年度	4	4	8
平成26年度	1	1	2

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
13	15	28	18	38
14	17	31	18	39
10	12	22	13	24

施設名	サンライズ万世		定員	20	世帯
			短期・緊急一時	2	世帯
利用者 年間稼働率	95.8	%	入所	95.8	%
			短期・緊急一時	3.8	%
年間入所	9	世帯	26	名	
年間退所	7	世帯	17	名	
平均在所期間	1.3	年	(最長	3.5	年)
主な退所先	都営、民間アパート、自宅				

【施設運営状況】

- 1 法人の理念・方針および母子生活支援施設のミッションに基づき支援して参りました。入所理由に関らず、精神面の不安に対し、常に傾聴の立場で寄り添い、相手の気持ちを受入て参りました。
- 2 人材育成と組織力の向上を目指し、個別育成計画に沿った研修参加を実施することができました。次年度に向けては、研修報告の精度を更に上げて参ります。
- 3 第三者評価の受審は、利用者支援の質と組織力向上への課題を明確にする機会になりました。評価結果は、職員の意識向上と、より良い施設運営につながりました。
- 4 職員個々の能力を認め、職務分掌に基づいた責任のある業務遂行に努めました。更に、協働と協調を大切に参りました。
- 5 近接する小学校や保育園等と連携を密にし、安全で安心して暮らせる場所の提供をして参りました。また、災害時への備えやBCPの取組みを重要課題として取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 様々なニーズを抱え入所される利用者に対し、ありのままの自分で居ていただけるよう、笑顔と寄添う姿勢を大切に参りました。
- 2 個別的な課題は、その方の意向を十分踏まえた自立支援計画を作成し、関係主管と連携のもと支援を行って参りました。
- 3 母親の支援では、社会的自立要素である経済的自立に向けた就労支援をはじめ、就労時の補助保育や住宅申請にも力を入れて参りました。
- 4 特に子への支援では、学校等関係機関との連絡調整や学習支援、レクリエーション他、常にアタッチメントを考え、日々健全な成長につながるよう取り組みました。
- 5 退所者支援であるアフターケアとして、個別的な計画に沿った相談援助を行って参りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
共有部照明器具交換	2,500	共有部照明器具交換	879
購入等合計	2,500	購入等合計	879
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
集会室作付棚	500		
事務所作付棚	800		
購入等合計	1,300	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
集会室用椅子	650	集会室作付棚	654
		事務所作付棚	708
		集会室用椅子	508
購入等合計	650	購入等合計	1,870
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		居室ガス給湯器交換	901
購入等合計	0	購入等合計	901

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
世帯数	18	19	19	18	20	20	20	19
児童数	28	29	30	28	32	32	32	30
合計	46	48	49	46	52	52	52	49

12月	1月	2月	3月	計
19	20	20	20	232
30	31	32	36	370
49	51	52	56	602

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成24年度	14	25	39
平成25年度	16	23	39
平成26年度	16	29	45

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
6	11	17	20	56
3	6	9	19	48
4	7	11	20	56

平成26年度 事業報告書（児童養護施設）

施設名	双葉園	定員	38名
施設名	高嶋の家（地域小規模）	定員	6名
施設名	くすのき（地域小規模）	定員	6名

昭島市子どもトワイライトステイ事業	2名	年間延利用者数	268名
-------------------	----	---------	------

本園	年間稼働率	95.8%	本年・GH合算稼働率	96.3%
高嶋の家	年間稼働率	99.3%		
くすのき	年間稼働率	96.3%		
	平均年齢	10.3歳	（最高	17歳）
			（最低	2歳）
男女比率	5対5			
年間入所	8名			
年間退所	5名			
主な入所理由	虐待・養育困難			
主な退所理由	家庭復帰・就労自立・措置変更			

【施設運営状況】

- 1 適切な予算執行、円滑な事業活動等を実施し、健全で透明性のある施設運営を行ってきました。
- 2 昭島市、地域自治会、学校等と積極的に連携を図り、地域社会における児童福祉推進の拠点としての役割を担ってきました。
- 3 昭島市より受託したトワイライト事業の利用者は、前年度より2.4倍に増えました。今後とも、子育て支援の充実に向けて積極的に取り組んでいきます。
- 4 今年度から専門機能強化型事業を開始しました。医療との連携及び治療的ケアのスキルアップと職員の専門性の向上のための環境整備がされ、子ども達への支援力向上が図られました。
- 5 本園の小規模ユニット化に向けて、平成27年11月から改築が始められるよう準備を進めてきました。小規模化に伴い、さらに、子ども一人ひとりに合った自立支援を行っていきます。

【利用者支援状況】

- 1 今年度もケース検討会を定期的に行い、チームケアの必要性について理解を深めることができました。また、職場内研修では、専門機能研修を実施し、組織のあり方、職員の専門性の向上等の研修を通じ、利用者支援の向上を図りました。
- 2 今年度も児童相談所と連携し、卒園から家庭復帰まで一貫して支援していく体制を確認し、家庭調整と卒園生のアフターケアを行いました。

- 3 今年度は、福祉研究発表会に児童・女性支援系グループとして「児童養護施設における性（生）教育の取り組み」として当園の取り組みを発表しました。発表の成果を、子どもの支援に活かせるように取り組みました。
- 4 子どもたちが安心して生活できるための子どもの人権について、権利擁護委員会を定期的
に開催しました。また、職員からアンケートを取り、権利擁護の意識向上を図りました。
なお、子ども達の自治会も定期的に開催しました。
- 5 年2回、第三者委員に子ども達からの相談を受けていただきました。また、第三者評価も
実施しました。ボランティアも月に10名以上の方に来ていただき、子ども達の支援に協
力していただきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
1階デッキフェンス取付	524		
購入等合計	524	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		1階デッキフェンス取付	336
購入等合計	0	購入等合計	336
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
玄関前門扉設置（くすのき）	857		
小規模ユニット実施設計	4,500		
購入等合計	5,357	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		玄関前門扉設置（くすのき）	857
		小規模ユニット実施設計 (27年度に実施時期変更)	
購入等合計	0	購入等合計	857

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	25	25	25	26	26	25	25	25
女児	22	21	20	23	23	23	24	24
合計	47	46	45	49	49	48	49	49

12月	1月	2月	3月	計
24	25	25	25	301
24	24	24	24	276
48	49	49	49	577

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	学年別内訳				
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他
平成24年度	50	8	29	8	4	1
平成25年度	48	8	23	11	6	
平成26年度	49	8	23	13	5	

平成26年度 事業報告書（婦人保護施設）

施設名	いこいの家		定員	40名	
利用者	年間稼働率	22.3%			
本入所	平均年齢	43.0歳	(最高	65歳)	平均在所期間
			(最低	27歳)	(最長
					1.5年
					4.5年)
	年間入所	6名	主な入所理由	居所無	
	年間退所	7名	主な退所理由	グループホーム	
緊急のみ稼働率	22.3%				
緊急	平均年齢	35.7歳	(最高	75歳)	
			(最低	21歳)	
	同伴児者	4.3歳	(最高	15歳)	
	平均年齢		(最低	0.2歳)	
	年間利用者数	58名	主な入所理由	夫の暴力	
			主な退所理由	母子生活支援施設	

【施設運営状況】

- 1 根拠法に基づき、女性の人権を守り、安心・安全な環境を提供し、自立支援を行いました。稼働率については、入所者数と退所者数がほぼ同一で稼働率は上がり、引き続き課題となっています。
- 2 職員の資質向上の為、積極的に外部研修を活用しました。内部研修についても、婦人保護に造詣が深い学識経験者を講師に根拠法である売春防止法を見直し、婦人保護施設の役割等4回の研修を実施。他に発達障がいやアレルギーについても学び、支援に活かしました。
- 3 第三者評価を受審し、利用者の要望を受け止め、施設運営の見直しを行いました。また、苦情解決制度第三者委員を活用し、利用者の権利擁護及び支援の向上を図りました。
- 4 職員が心身ともに健康に働くことができるように、前年度に引き続き、ヒューマン・フロンティアの方にコンサルテーションを依頼し実施、対処法などを学び、その後の行動に活かす事が出来ました。
- 5 昭和郷の行事や内作業での郷内エコショップ出店を通じて、地域の方々と交流を図りました。また、職場内研修に近隣の作業所や婦人相談員の方々にも声をかけて共に学び、協力・連携を深めることが出来ました。

【利用者支援状況】

- 1 朝夕の連絡会や会議を活用して、全職員が情報の共有、報告・連絡・相談の徹底を図り、一人ひとりの利用者を多角的にみて支援するように努めました。
- 2 規則正しい生活を通して、心身の健康を保てるように促しました。また、個別には医療機関との連携を密にし、自己管理できるように健康支援を行いました。肥満傾向の方には食事指導、毎月の体重測定などの意識付けにより成果が上がりました。

- 3 自立に向けて、基本的な生活習慣や生活技術の習得ができるように、一人ひとりの状況に合わせて支援を行いました。就労も内作業から外勤、または愛の手帳を取って作業所通所と支援することが出来ました。
- 4 利用者のニーズに合った食事が適切に提供できるように、平成27年度からの厨房の単独化を目指し準備を進めました。
- 5 新たな生活の準備として、退所前にステップハウスを活用し、地域生活を始める前の不安解消を行いました。家事や金銭管理が出来るように、具体的に支援することができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
2階ベランダ防水工事	672	冷凍冷蔵庫	599
冷凍冷蔵庫	599	居室内装工事	363
空調設備工事（給食センター）	750		
フードスライサー外（給食）	598	フードスライサー外（給食）	0
購入等合計	2,619	購入等合計	962
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
防音扉交換工事	690	2階ベランダ防水工事	307
購入等合計	690	購入等合計	307
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
居室内装工事	1,600	空調設備工事（給食センター）	719
購入等合計	1,600	購入等合計	719
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		防音扉交換工事	683
購入等合計	0	購入等合計	683

年間利用状況（各月月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
本入所	8	7	6	6	7	7	5	7
緊急一時	0	0	2	4	2	1	2	0
合計	8	7	8	10	9	8	7	7

12月	1月	2月	3月	計
7	7	7	7	81
0	3	0	6	20
7	10	7	13	101

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	65～
平成24年度	27	8	3	9	2	1	1	3	0
平成25年度	10	3	0	3	2	0	0	2	0
平成26年度	7	1	0	2	1	3	0	0	0

施設名 昭島市児童センター・つつじが丘北学童クラブ

定員 児童センター
学童クラブ

	名
50	名

登録人数 43 名

【施設運営状況】

- 1 児童センターの年間利用者数は64,732名で、1日平均来館者は220名でした。学童クラブの年間育成日数は293日で、総出席児童数は8,187名でした。児童センター全体の総利用者数は72,919名で、対前年度（人）は△870名、比率としては1.18%減でした。
- 2 今年度は地域子育て支援事業として、子育て仲間づくり「くじらっこ」を立ち上げました。子育て中の母親のストレス解消と、同年齢の子どもを持つ母親同士が情報交換をしたり、育児の悩みなどを気軽に相談できる環境を整えました。また、フラダンスや英語の読み聞かせなどの新規事業も開設しました。
- 3 保護者・小学生・中学生・高校生の区分別に利用者アンケートを実施しました。施設環境面や遊具、来館児童に関することなど、様々な面からご意見を頂きました。アンケートで得られた意見を施設の課題とし、改善に取り組みました。利用者から出された意見には回答をし、館内掲示にて利用者へ公開しました。
- 4 地域ボランティアの方々にご協力頂きながら、様々な行事や講習会を実施しました。また、今年度は児童センターボランティア懇親会を実施し、ボランティア同士の交流や情報交換を行いました。
- 5 研修計画に沿って法人研修・グループ研修・施設内研修及び関係団体の各種研修に参加しました。職員の専門性と、利用者支援の向上を目指した人材育成に努め、学童クラブにおいては、障害児対応研修に積極的に参加し、発達障害の理解や個別支援方法について学びました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者が安全に安心して遊べる空間や環境を整備し、遊びに必要な遊具や周辺機器の定期的な点検と消毒を徹底しました。館内の修繕・修理が必要箇所については、行政機関と随時協議しながら行いました。
- 2 学童クラブは遊びや行事を通じて、児童が健全に育つよう児童の育成に努めました。また、アレルギー対応児や障害児など、個別配慮が必要な児童については、各家庭や学校機関と連携を取りながら、児童が安心して過ごせるよう支援をしました。
- 3 地域の小・中学校や行政機関と必要に応じた連携をし、児童センターに来館する児童・生徒の情報交換や支援向上に役立てました。
- 4 年2回、児童センター運営委員会を実施しました。委員会では、学識経験者・各関係機関担当者・地域代表及び児童代表の方々に対して児童センターの運営状況を報告しました。利用状況や施設の課題・改善点等については、今後の利用者サービスの改善に活かすよう取り組みました。
- 5 地震や火災等の災害時に児童が安全に避難できるよう、様々な想定をした避難訓練を実施しました。また、児童の身の安全を守るための防犯訓練も実施しました。それぞれの訓練には目標を立てて行い、全体の評価と反省を次の訓練で改善するよう努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（延利用者数）

昭島市児童センターぱれっと

時間帯	未就学		小学生		中学生		高校生		見学者	合計
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者		
午前	8,675	7,474	3,825	305	352	2	660	2	1,141	22,436
午後	5,966	5,076	18,599	898	4,560	23	1,884	4	279	37,289
夜間	91	78	34	29	1,901	18	2,623	4	229	5,007
合計	14,732	12,628	22,458	1,232	6,813	43	5,167	10	1,649	64,732

年間内訳		
児童	保護者	見学者
13,512	7,783	1,141
31,009	6,001	279
4,649	129	229
49,170	13,913	1,649

年間利用状況（延利用者数）

昭島市つつじが丘北学童クラブ

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男児	1,967	1,771	765	0	4,503
女児	1,318	1,450	916	0	3,684
合計	3,285	3,221	1,681	0	8,187

	育成日数	出席児童数	在籍児童数	1日あたり出席児童数
平日	244	8,043	10,496	33
土曜日	49	144	2,111	3
合計	293	8,187	12,607	36

5 医療事業の経営

医療保護施設・医療施設

医療を必要とする患者に指定医療機関として、適切な医療の給付を行うとともに、地域の方々に対して安全な医療を提供した。

施設名 昭島病院

病床数

199床

【経営状況】

- 1 入院は、1日平均患者数138人（前年度対比：-6人）、入院診療収益は、56,862千円減（前年度対比-3.2%）となりました。
- 2 外来は、1日平均患者数468人（前年度対比：-13人）、外来診療収益は、30,207千円減（前年度対比-3.2%）となりました。
- 3 入院の1日当り平均単価は、33,608円となり、前年度対比で+261円となった。外来の1日当り平均単価は、6,751円となり前年度対比で-11円となりました。

【診療状況】

- 1 病床利用率は、69.3%となり、前年度対比で、-3%となりました。
- 2 平均在院日数は、17.8日となり、前年度対比で、-0.1日となりました。
- 3 救急車受入台数は、991台（83台／月）となり、前年度対比で、-253台（-21台／月）となりました。
- 4 手術件数は、481台（40件／月）となり、前年度対比で、-59件（-5件／月）となりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
ナースコールシステム	36,396		
看護職員勤務予定作成システム	3,942		
購入等合計	40,338	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
高圧滅菌器	2,182	無線LAN設備 PACS用	3,672
		診察券発行システム	1,788
購入等合計	2,182	購入等合計	5,460
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
電動ベッド10台	4,000	機内電話設備更新工事	9,558
ジェットウォッシャー	10,185	電動リモートコントロールベッド一式	3,013
調剤支援システム	7,722	蒸気ボイラー更新工事	13,716
電話交換機設置	9,996		
購入等合計	31,903	購入等合計	26,287
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
自動再来受付システム	5,400	ナースコールシステム	29,111
診察券発行機	3,456	看護職員勤務管理システム	2,224
		自動再来受付システム	2,931
購入等合計	8,856	購入等合計	34,266

患者数実績

年度	1日あたりの平均患者数	
	外来	入院
平成24年度	497	154
平成25年度	481	144
平成26年度	468	138

減免内訳

区分		件数	金額	
入院	実人数	生活保護	133	
		健保・国保	8	
		無	0	
		計	141	
	延人数	生活保護	2,641	1,457,100
		健保・国保	148	687,442
		無	0	0
		計	2,789	2,144,542
外来	延人数	生活保護	0	0
		健保・国保	0	0
		無	1	16,210
		計	1	16,210
その他		36	55,800	
合計		2,826	2,216,552	

施設名 訪問看護ステーション

1日平均利用者数 13.0 名 男女比率 3 対 7

平均年齢 82.0 歳 （最高 101 歳 最低 18 歳）

介護保険延人数	70	名
医療保険延人数	23	名
計	93	名

【施設運営状況】

- 1 医療分野の訪問回数増加により、増収になりました。
- 2 S T 1 名（9月～）を病院との兼務により、新規利用者の確保を図りました。
- 3 自転車利用により、経費削減に努めました。
- 4 毎年恒例の家族会は、多数参加して頂き、好評でした。

【利用者支援状況】

- 1 年間延べ訪問利用者数は、前年度対比で、47名増加しました。
- 2 1日平均利用者数は、13人と前年度対比で、1名増加しました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（月間延訪問者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	20	18	20	18	17	16	18	22	21	19	17	19	225
女性	40	41	48	48	45	46	47	46	49	49	53	48	560
合計	60	59	68	66	62	62	65	68	70	68	70	67	785

6 収益事業の経営

平成26年度 事業報告書

1 オフセット・活版印刷事業

施設名 **事業局**

【経営状況】

- 1 対前年減収でしたが、利益に於いて同水準(対前年)を確保しました。
- 2 無事故、無災害と紙のリサイクル率を向上させました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
移転費用	14,950	電気設備・照明器具工事	2,714
事務所改修	1,500	エアコン・看板他	958
		敷金・礼金・仲介料・家賃等	5,135
		冷蔵庫他	922
自動丁合機	13,000	自動丁合機	12,668
購入等合計	29,450	購入等合計	22,397
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		トイレ流し台増設	332
購入等合計	0	購入等合計	332
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		入口ドア施錠工事	140
購入等合計	0	購入等合計	140
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		電気設備増設	225
購入等合計	0	購入等合計	225

2 駐車場その他不動産に関する事業経営

下記の事業を行い、510万円を本部へ繰入ました。

【経営状況】

- 1 富士見町駐車場
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営を行いました。
- 2 原町ホーム土地賃貸業
原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与しました。
- 3 昭島病院駐車場
昭島病院の東側敷地を活用し、時間貸しの駐車場として経営を行いました。

三 職員福利厚生制度

本年度の職員福利厚生事業は下記のように実施しました。

1 永年勤続者表彰

10 年勤続者 27 名 20 年勤続者 9 名 30 年勤続者 3 名

定年退職者表彰（定年退職前勤続 10 年以上の職員対象）
13 名

2 人間ドック健診助成の実施

40 歳、50 歳 受診 17 名 60 歳 受診 6 名

婦人科検診助成の実施（35 歳以上の女性職員対象）

乳がん検診 受診 377 名 子宮がん検診 受診 329 名

3 福利厚生センター事業の利用

ソウエルクラブ 年間加入 1 種職員 799 名
2 種職員 171 名
計 970 名

4 職員メンタルヘルスケアへの取り組み

EPA（従業員支援プログラム） 21 年 7 月～

職員ならびに家族（同居）、休職者・復帰者への支援カウンセリングの実施

相談件数 11 件 利用者延数 10 名

5 事業所内保育施設「あっぱる」の運営 昭島市中神町 1260

定員 15 名 保育時間 7 時～21 時

0 歳（6 カ月未満）から小学校就学前までの職員の児童を預かり保育

月極保育利用 年間延べ 134 名

一時保育利用 年間延べ 33 名

四 理事会及び評議員会

定款の定めにより、下記の理事会、評議員会を開催しました。

1 理事会

- ア 第1回 平成26年5月28日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、殿塚典彦、神田祐一 9名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長
議 事：平成25年度事業報告、平成25年度決算報告、立川福祉作業所仮施設
賃貸賃借の入札予定価格設定
- イ 第2回 平成26年5月30日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、殿塚典彦、神田祐一 9名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
議 事：理事長互選、常務理事指名、理事長並びに常務理事の役員報酬、監事の役員報酬
- ウ 第3回 平成26年10月22日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、森谷順蔵、品川卓正、殿塚典彦、神田祐一 7名
欠席者：多久島耕治、原山陽一 2名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：平成26年度第1次補正予算、運営規程一部改正（さやま園、アミニティ富士見、立川福祉作業所）、経理規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、立川福祉作業所改築工事入札予定価格設定、平成27年度東京都施設整備補助事業申請（双葉園ユニット化改修工事、みなと保育園耐震化工事）、昭和郷給食センター業務委託提案型競争入札

- エ 第4回 平成26年11月19日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、神田祐一
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正）9名
監事：岩井令雄 1名
欠席監事：鈴木道生 1名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：施設長人事（昭島病院長）
- オ 第5回 平成27年1月21日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、神田祐一 8名
欠席者：殿塚典彦 1名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
議 事：仮称）拝島駅前保育園新築工事入札予定価格設定
- カ 第6回 平成27年2月18日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、神田祐一 7名
欠席者：多久島耕治、殿塚典彦 2名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
議 事：平成26年度第2次補正予算、設備資金借入金連帯保証人変更、施設長人事
- キ 第7回 平成27年3月25日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、上原 淳
神田祐一 7名
欠席者：多久島耕治、橋本泰子 2名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議 事：平成 27 年度事業計画、平成 27 年度予算、定款一部変更、就業規則一部改正、給与規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、再雇用職員就業規則一部改正、昭島病院就業規則一部改正、昭島病院給与規程一部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、昭島病院再雇用職員就業規則一部改正、事業局就業規則全部改正、事業局臨時職員就業規則全部改正、事業局再雇用職員就業規則一部改正、運営規程の制定及び一部改正、経理規程一部改正

※ 理事及び監事一覧（任期：平成 28 年 5 月 29 日まで）

理事長 牧野 洋一 常務理事 菅原 眞廣 理事 多久島 耕治
理事 橋本 泰子 理事 原山 陽一 理事 森谷 順蔵
理事 品川 卓正 理事 殿塚 典彦（2/28 退）理事 上原 淳（3/1 就）
理事 神田 祐一 監事 鈴木 道生
監事 五十嵐力平（5/29 退）監事 岩井 令雄（5/30 就）

2 評議員会

ア 第 1 回 平成 26 年 5 月 28 日 於：原町高齢者複合施設 会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、岡橋生幸 戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、林 美枝、水谷貞子、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 17 名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2 名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長

欠席者：小林順吾、堀茂 2 名

議 事：平成 25 年度事業報告、平成 25 年度決算報告、理事・監事選任

イ 第 2 回 平成 26 年 10 月 22 日 於：原町高齢者複合施設 会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、本山美八郎、田中幸子、川向良和、比留間由真、岡橋生幸、戸塚洋子、五十嵐力平、六本木尚、林 美枝、水谷貞子、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 16 名

欠席者：飯山幸雄、堀茂、田中紀久子 3 名

監事：鈴木道生 岩井令雄 2 名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議 事：平成 26 年度第 1 次補正予算

- ウ 第 3 回 平成 27 年 2 月 18 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：坂井利夫、小山寿、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、
堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、田中紀久子、五十嵐力平、林 美枝、
水谷貞子、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 16 名
欠席者：古屋正義、本山美八郎、六本木尚 3 名
監事：鈴木道生 岩井令雄 2 名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議 事：平成 26 年度第 2 次補正予算、理事選任

- エ 第 4 回 平成 27 年 3 月 25 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、本山美八郎、田中幸子、川向良和、
飯山幸雄、比留間由真、岡橋生幸、戸塚洋子、田中紀久子、
五十嵐力平、六本木尚、林 美枝、水谷貞子、池田康子、
牧野洋一、菅原眞廣 18 名
監事：鈴木道生 岩井令雄 2 名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
欠席者：堀茂 1 名
議 事：平成 27 年度事業計画、平成 27 年度予算、定款一部変更

※ 評議員一覧（任期：平成 28 年 5 月 29 日まで）

坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	小林 順吾(5/29 退)
本山美八郎	田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄
比留間由真	堀 茂	岡橋 生幸	戸塚 洋子
田中紀久子	五十嵐力平 (5/30 就)	六本木 尚	水谷 貞子
石川 宜子 (3/31 退)	池田 康子 (4/1 就)	林 美枝	
牧野 洋一	菅原 眞廣		

五 施設長会議及び各種委員会

1 施設長会議

原則として、毎月第一水曜日に、事務局からの報告、連絡及び提案等の協議を行うための施設長会を開催しました。

- ア 4月 平成26年4月2日（水） 於：京王プラザホテル あけぼのの間
新施設長紹介、各種委員会・施設長会議の運営について
役員会（26.3.26）報告
25年度2月分月次実績報告
各委員会・各グループ報告
- イ 5月 平成26年5月14日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
25年度3月分月次実績報告
新卒職員採用関係日程について
有給休暇取得について
後援会日程について
内部検査日程について
消費税の対応状況について
双葉園 専門機能強化型事業実施について
各委員会・各グループ報告
- ウ 6月 平成26年6月4日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
役員会（26.5.28）報告
25年度決算報告、決算主要増減内容説明（対前年度比）
4月分月次実績報告
賞与支給について
現在実施している地域貢献サービスについて
ウイルスバスター更新について
団体生命保険料についてのお知らせ
各委員会・各グループ報告
- エ 7月 平成26年7月2日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
5月分月次実績報告
職員採用関係日程について
管理職試験について

各委員会・各グループ報告

オ 9月 平成26年9月10日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
7月分月次実績報告
職員採用状況について
永年勤続表彰式について
交通機関を利用する通勤手当の取り扱いについて
各委員会・各グループ報告

カ 10月 平成26年10月1日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
8月分月次実績報告
職員採用状況について
理事長視察予定について
グループ状況報告
・上半期の状況、下半期に向けた対応について
・防災・減災への取り組みについて
各委員会・各グループ報告

キ 11月 平成26年11月5日（水） 於：新宿NSビル 3-J会議室
9月分月次実績報告
役員会(26.10.22)報告
人事関係日程について
賞与支給について
各委員会・各グループ報告

ク 12月 平成26年12月3日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
10月分月次実績報告
職員採用状況報告
平成26年度 管理職試験結果について
院長交代について（役員会報告）
情報管理の徹底について
年末年始における施設運営管理について
各委員会・各グループ報告

ケ 1月 平成27年1月8日（水） 於：京王プラザホテル あおぞらの間
11月分月次実績報告
各委員会・各グループ報告

- コ 2月 平成27年2月4日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
役員会報告
12月分月次実績報告
大山保育園改築竣工について
各委員会・各グループ報告
- サ 3月 平成27年3月4日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
役員会(27.2.18)報告
1月分月次実績報告
雇用契約書の一部改正について
自転車保険更新について
辞令交付式について
各委員会・各グループ報告

2 各種委員会

平成26年度事業計画の定めにより、下記の委員会を設け業務を遂行しました。

(1) 総合企画委員会

委員：○山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄
池田 康子 林 美枝 神田 祐一
水谷 貞子 長沼 君夫

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。総合企画委員会については法人の重要事項について議論し、理事長へ意見を進達する機関としました。また他の委員会の所掌事務について必要な進行管理等を行いました。

- ア 第1回 平成26年4月2日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
・ 平成26年度重点課題

常務方針

総合企画委員会運営について

施設長会運営について

- ・ 2 月分事業実績について
- ・ 拝島駅前保育所について
- ・ 昭和郷高齢者複合施設について
- ・ ベアについて
- ・ グループ長の役割と権限について

イ 第 2 回 平成 26 年 5 月 14 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 新卒職員採用関係日程について
- ・ 他法人のベア状況・給与水準調査票について
- ・ 仮称）昭和郷高齢者複合施設について
- ・ 地域から期待される新たな取り組みについて
- ・ 施設長会 2 部で行うべき研修について
- ・ 3 月分事業実績について

ウ 第 3 回 平成 26 年 6 月 4 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 役員会（26.5.28）報告
- ・ 他法人の給与水準状況について
- ・ 地域から期待される新たな取り組みについて
- ・ 仮称）拝島駅前保育園設置場所進捗状況
- ・ 4 月分事業実績について

エ 第 4 回 平成 26 年 7 月 2 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 地域貢献活動について
- ・ 5 月分事業実績について

オ 第 5 回 平成 26 年 9 月 10 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 7 月分事業実績について
- ・ 職員採用状況について
- ・ 社会福祉法人への批判から課税検討の状況について
- ・ 総合相談窓口 事業計画 （案）

カ 第 6 回 平成 26 年 10 月 1 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 8 月分事業実績について

- ・ 職員採用試験状況について
- ・ 昭和郷複合施設進捗状況について
- ・ 総合相談窓口 事業計画 （案）

キ 第7回 平成26年11月5日（水） 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 9月分事業実績について
- ・ 昭和郷複合施設進捗状況について
- ・ 社会福祉法人への批判に対して

ク 第8回 平成26年12月3日（水） 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 10月分事業実績について
- ・ 情報管理要綱の再度周知について
- ・ 院長交代について（役員会報告）
- ・ 職員採用状況について

ケ 第9回 平成27年2月4日（水） 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 役員会報告
 - ・ 12月分事業実績について
 - ・ 社会貢献事業進捗について
- 総合相談窓口
学習支援

コ 第10回 平成27年3月4日（水） 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 役員会（27.2.18）報告
- ・ 1月分事業実績について
- ・ 社会貢献事業 学習支援 について

（2）人事委員会

委 員：○菅原 眞廣 山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄

職員の懲戒等について検討しました。

(3) 規程整備委員会

委員：○中島 昭 山川 浩一
 原田 浩二 宮本 浩史 石井 好子
 宮澤 民雄 長沼 君夫 品川 克美

法人の組織、人事、給与、及びその他諸制度に関する規程について検討し整備しました。

- ア 第1回 平成26年4月23日 於：地域交流室
- ・平成26年度規程整備委員会の活動計画について
 - ・平成25年度人事考課の総括と26年度の考課の課題について
 - ・今後の課題について
- イ 第2回 平成26年5月23日 於：地域交流室
- ・就業規則に一部改正について
 仮称「リハビリり出社規程」の導入（休職及び復職規程の補完）
 - ・「保育士助手」の呼称
 - ・優先すべき課題について
- ウ 第3回 平成26年6月27日 於：地域交流室
- ・職種資格基準表の見直し
 - ・56歳以上の賞与支給率減額の見直し（昇給停止との比較）
- エ 第4回 平成26年7月25日 於：地域交流室
- ・職種資格基準表の見直し（各グループ検討結果を受けて）
 - ・特殊業務手当の見直し（保育士処遇改善補助金の使途）
- オ 第5回 平成26年9月26日 於：地域交流室
- ・既検討課題の整理と今後の検討方法（検討の優先順位、検討期間等）
 ※9月に引続き
 - ・遠隔地居住の採用者への対応（「遠隔地」の定義、住居手当の増額、引越支度金の支給、その他：職員宿舎・借上げアパート）
- カ 第6回 平成26年10月24日 於：昭島病院会議室
- ・人事考課規程の見直し
 - ・就業規則の見直し（休職及び復職）
 - ・給与規程の見直し（職員育成手当支給方法、特殊業務手当、給与格付等）

- ・再雇用職員就業規則の見直し（副施設長給料の新設）

キ 第7回 平成26年11月28日 於：地域交流室

- ・給与規程の見直し（特殊業務手当、地方採用者等の住居手当、職務手当の新設）

ク 第8回 平成26年12月26日 於：地域交流室

- ・各規程改正内容の確認

ケ 第9回 平成27年1月16日 於：原町ホーム集会室

- ・各規程改正について

就業規則（休職及び復職規程の追加）

給与規程（職員育成手当支給範囲の拡大、保育士特殊業務手当増額、管理職手当支給区分変更、職務手当新設、短大3卒区分適用範囲拡大、地方採用者等の住居手当増額）

再雇用職員就業規則（副施設長給料の新設）

コ 第10回 平成27年2月20日 於：昭島病院会議室

- ・保育園以外の特殊業務手当見直し
- ・臨時職員就業規則の見直し（正規職員への登用条項の改正）

サ 第11回 平成27年3月13日 於：地域交流室

- ・26年度委員会活動の総括
- ・27年度の検討課題について

（４）職員研修委員会

委員： 中島 昭

○鎌田 弘道 折居 千恵子 小堀 和子 南山 徳英
相原 幸仁 田代 秀之 荒井 隆夫 山中 誠一
魚津 亮太

法人職員の研修に関し企画、実施しました。

① 委員会開催状況

ア 第1回 平成26年4月11日 於 原町高齢者複合施設地域交流室

- ・研修委員会年次計画及び役割分担
- ・福祉サービス研究発表会の日程について
- ・基礎研修、チューター研修、中堅研修メンタルヘルス研修の進捗状況について
- イ 第2回 平成26年5月29日 於 国分寺市立いずみホール（和室会議室）
 - ・プレゼンテーション能力向上研修の進捗状況について
 - ・基礎研修、チューター研修、メンタルヘルス研修の実施報告について
 - ・福祉サービス研究プレ発表会及び本発表会の進捗状況・役割分担について
- ウ 第3回 平成26年6月18日 於 サンライズ青山
 - ・副施設長及び管理職候補者研修の内容確認（株）ビジネスコンサルタント
 - ・プレゼンテーション研修の実施報告について
 - ・中堅研修の進捗状況について
 - ・福祉サービス研究発表基調講演講師と施設長及び管理職等研修講師依頼について
 - ・福祉サービス研究プレ発表会及び本発表会の進捗状況について
 - ・福祉サービス研究プレ発表を6月27日、原町高齢者複合施設地域交流室で実施
- エ 第4回 平成26年7月11日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
 - ・主任副主任研修及び新任フォローアップ研修の内容確認（株）インソース
 - ・福祉サービス研究プレ発表及び中堅研修の実施報告について
 - ・施設長及び管理職等研修の講師依頼及びスケジュール確認について
 - ・ハラスメント研修の内容確認（株）ヒューマン・フロンティア
- オ 第5回 平成26年9月12日 於 原町ホーム（集会室）
 - ・ハラスメント研修の実施報告について
 - ・副施設長及び管理職候補者研修、主任副主任研修、新任フォローアップ研修の進捗状況について
 - ・福祉サービス研究発表会のポスター及び招待者リスト等について
- カ 第6回 平成26年10月10日 於 国分寺市立いずみホール（会議室）
 - ・主任副主任研修の実施報告について
 - ・新任フォローアップ研修、施設長及び管理職等研修の進捗状況について
 - ・福祉サービス研究発表会役割分担及び研究発表会誌等の確認について
- キ 第7回 平成26年11月6日 於 国分寺市立いずみホール（和室会議室）
 - ・新任フォローアップ研修、施設長及び管理職等研修の実施報告について
 - ・福祉サービス研究発表リハーサル及び本発表の役割分担等の最終確認について
 - ・本日、福祉サービス研究発表会リハーサルを本発表会場で実施
 - ・福祉サービス研究発表会を11月14日、国分寺市立いずみホールで実施
- ク 第8回 平成26年12月12日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
 - ・研修委託先候補3社による研修企画提案プレゼンテーションを実施
 - ・福祉サービス研究発表会の実施報告及びアンケート集計等の確認について
- ケ 第9回 平成27年1月16日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
 - ・次年度の研修委託業者の選定について
 - ・新任研修の役割分担について
 - ・リスクマネジメント研修の進捗状況について

- コ 第 10 回 平成 27 年 1 月 27 日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
- ・ 新任研修及びリスクマネジメント研修の内容確認（株）クレスコパートナーズ
 - ・ 次年度の研修計画骨子及び研修委託業者の配分について
 - ・ 今後の福祉サービス研究発表会の在り方について
- サ 第 11 回 平成 27 年 2 月 27 日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
- ・ 新任研修のスケジュール及び役割分担等の最終確認について
 - ・ 次年度の法人研修計画（利用者の権利擁護含む）の検討について
 - ・ 今後の福祉サービス研究発表会の在り方（開催有無を含む）について
- シ 第 12 回 平成 26 年 3 月 9 日 於 原町高齢者複合施設地域交流室
- ・ メンタルヘルス研修及びハラスメント研修の内容確認（株）アドバンテッジ・リスクマネジメント
 - ・ 新任研修の実施報告について
 - ・ 次年度の法人研修計画（利用者の権利擁護含む）の確認について
 - ・ 今後の福祉サービス研究発表会の在り方（開催有無を含む）について

② 研修実施状況

平成 26 年度 法人としての全体研修実施状況報告

実施日	研 修 名	目 的
平成 26 年 4 月 25 日	メンタルヘルス研修 （平成 26 年度新規採用正規職員・管理職候補者） H26.4.25（金）14：00～16：30 ・ ストレスの基礎知識 ・ ストレス対処能力の向上 ・ ストレスに強くなる行動と試行（3R3C） ・ 柔軟思考、上手な自己表現を身につける 参加者 47 名 講 師 (株)ヒューマン・フロンティア 武井 茜 氏	・ メンタル不調についての理解を学ぶ。 ・ メンタルヘルスが必要となっている具体的事例に対して、どのように対応していくべきかを学ぶ。

5月9日	基礎研修（経験年数1～3年） H26.5.9（金） 9：30～17：00 ・組織におけるコミュニケーションとは ・コミュニケーションのスタートライン ・「聴く」スキル＝「傾聴力」のポイント ・「訊く」スキル＝「質問力」のポイント ・「話す」スキルのポイント ・「ホウ・レン・ソウ」 ・利用者の権利擁護 参加者 31名 講師 ㈱インソース 山田 路子 氏	・プライベートでのコミュニケーションとビジネスにおけるコミュニケーションの違いを認識、ビジネスコミュニケーションに求められるマインドを認識する。 ・言葉によるコミュニケーションだけではなく、第一印象など、言葉によらないコミュニケーションを含めた包括的なコミュニケーションスキルを習得する。
5月22日	課題別 「チューター研修」 （経験年数2～5年 新任職員の育成担当者） H26.5.22（木） 9：30～17：00 ・若手の立場に立ったOJTとは何か ・OJTの全体像を把握した育成計画の作成 ・OJTの進め方（指示・報告・相談） ・効果的なほめ方、叱り方を理解する 参加者 28名 講師 ㈱インソース 大西 雄一 氏	・チューターとしてOJTの意義を理解し、育成計画の策定方法を学ぶ。 ・「3ヶ月間の育成計画」を立て、OJTに役立てる。 ・仕事の仕方・ほめ方・叱り方等、具体的な進め方を習得する。
6月6日	課題別 「プレゼンテーション能力向上研修」 （一般職員） H26.6.6（金） 10：00～17：30 ・プレゼンテーションの基本と目的を明確化 ・プレゼンテーションスキル（伝え方） ・第1印象、ボディランゲージ・表情 ・効果的なまとめ方とビジュアルツール ・パーソナリティの重要性 参加者 26名 講師 ㈱クレスコ・パートナーズ 若林 郁代 氏（他2名）	・職場内外との情報の共有化を図り、他職種連携を円滑にするコミュニケーションスキル及び、発表などでのプレゼンテーションスキルの向上を図る。 ・聴衆の興味を引き付ける話法、表現方法を身に付け、福祉サービス研究発表を踏まえたプレゼンテーションの実践力を養う。

6月27日	福祉サービス研究プレ発表会 H26.6.27（金）13：00～17：00 ・あなたの明日（みらい）へ、 今、わたしたちができること 参加者 47名	・地域との協働による新しい福祉を創造、その研究成果を広く伝える。 ・部長、施設長等の助言を活用して本発表に備える。
7月4日	中堅職員研修（経験年数5年程度） H26.7.4（金）10：00～17：00 ・中堅職員に求められる役割 ・フォロワーの基本、上司と現場をつなぐ ・リーダーとしてのコミュニケーション力 ・仕事の管理、リスク管理 ・利用者の権利擁護 参加者 30名 講師 ㈱インソース 山田 路子 氏	・中堅職員に求められる3つのスキル（コミュニケーションスキル・仕事の管理力・リスクマネジメント）を強化する。 ・自己理解を深め、対人関係能力向上の啓発ポイントを見出し、自己に期待される役割を理解して、アクションプランを作成する
9月5日	ハラスメント研修（現場のリーダー層等） H26.9.5（金）14：00～16：30 ・モラルハラスメントの理解、適切な指導 ・モラルハラスメントの特徴と種類 ・モラルハラスメント予防と対処方法 ・アサーティブな自己表現 参加者 29名 講師 ㈱ヒューマン・フロンティア 小山 雅子 氏	・現場の課題としてのハラスメント、特にモラルハラスメントについて理解する。 ・社会状況の変化を認知して、予防と対処のポイントを学び、ハラスメントのない職場づくりにつなげる。
9月12日	副施設長および管理職候補者研修 H26.9.12（金）10：00～17：00 ・組織健康診断表の作成 ・施設毎と他の非営利組織の平均値との比較 ・変革テーマの選択と決定、現状と希望する姿 ・利用者の権利擁護 参加者 17名 講師 ㈱ビジネス・コンサルタント 久保江 康 氏	・職場の問題発見と解決への基本的な考え方、ステップアップ理解する ・組織健康診断のデータを活用しながら、現場の現状点検を具体化する。 ・非営利組織の平均値と比較する。
9月18	主任・副主任研修 H26.9.18（金）10：00～17：00 ・リーダーに求められること、悩むこと	・リーダーに求められる役割を組織的な立場から認識する。

	・ 6 つのリーダーコミュニケーション - 目標共有・適切な業務指示・不案内な業務接点・モチベーション・叱り ・ 利用者の権利擁護 参加者 36 名 講 師 (株)インソース 井上 啓 氏	・ 成果を上げるリーダーとして必要な 6 つのリーダーコミュニケーションを習得する。
10 月 20 日	新任フォローアップ研修 (平成 26 年度新規採用正規職員) H26.10.20 (月) 9 : 30~17 : 00 ・ プロフェッショナルな人材の要件 ・ 仕事を進める P D C A サイクル ・ スムーズに進めるコミュニケーション ・ 目標設定とアクションプランの作成 参加者 49 名 講 師 (株)インソース 木元 栄子 氏	半年間の職場活動の振り返りを行い、自分が目指すビジネスパーソン像を考える。 ・ P D C A サイクルとコミュニケーションの重要性とその実践方法に重点を置き、自立的な仕事の進め方をも身につける。
11 月 5 日	施設長及び管理職等研修 H26.11.5 (水) 15 : 00~17 : 00 ・ 社会福祉法人が担う地域貢献の役割と期待 ・ 豊かさを担う責任 ・ 三方よし (売り手・買い手・世間) 参加者 45 名 講 師 (株)伊藤忠商事 広報部 C S R 地球環境室長 小野 博也 氏	・ 社会福祉法人の公益的な活動・体制強化・透明性が求められ、大手企業が実践している社会貢献事業を参考として、地域福祉の拠点施設の役割を考える。
11 月 6 日	福祉サービス研究発表会 (リハーサル) H26.11.6 (木) 13 : 00~17 : 00 ・ あなたの明日 (みらい) へ、 今、わたしたちができること 参加者 47 名 助言者 (株)クレスコ・パートナーズ 加藤 智恵美 氏 (他 1 名)	・ 地域との協働による新しい福祉を創造、その研究成果を広く伝える。 ・ 部長、施設長・研修企画業者講師等の助言を活用して、1 週間後の本発表に向けた最終調整をする。
11 月 14 日	福祉サービス研究発表会 H26.11.14 (金) 12 : 30~17 : 00 ・ あなたの明日 (みらい) へ、 今、わたしたちができること 参加者 218 名 講 師 日本大学 文理学部 社会福祉学科	・ 地域との協働による新しい福祉を創造、その研究成果を広く伝える。 ・ 聴衆の興味を引き付ける話法、表現方法を身に付け、プレゼンテーションの実践

	教授 上之園 佳子 氏	力を養う。
平成 27 年 2 月 13 日	課題別 「リスクマネジメント研修」 (主任・副主任・リーダー・相談窓口者等) H27.2.13 (月) 9:30~17:00 ・クレームの基本的な考え及び対処法を学ぶ ・顧客との信頼関係を築く。 参加者 28 名 講 師 (株)クレスコ・パートナーズ 内藤 京子 氏 (他 2 名)	・クレームを正しく理解するとともに、誠意ある対処方法を習得する。 ・施設のブランドイメージを向上させる。
平成 26 年 11 月 14 日	新規採用内定者研修会 H26.11.14 (金) 13:00~17:30 「福祉サービス研究発表会」 ～「あなたの明日 (みらい) へ、 今、わたしたちができること」～ 参加者 25 名 講師 「地域包括ケアの動向から、これからの支援の 質向上について考える」 日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授 上之園 佳子 氏 各支援系研究発表会担当グループ	・同援の福祉サービスの現状に触れ、同援の職員となる意識を高める。 ・各支援系の 2 年間の研究成果を、採用内定者に伝え、同援職員として「地域と協働する新しい福祉サービスの創造」を目指す。
平成 27 年 1 月 20 日	新規採用内定者研修会 H27.1.19 (月) 10:30~14:30 「同援の福祉サービスの現状や課題・目標を理解する」 参加者 57 名 講師 総務部長 中島 昭 フジホーム 介護職員 西中あゆ美 さくらんぼ 生活支援員 日高広大	・同援職員として「真の福祉の実現」には、同援の基本的な仕組みや実績の正確な理解が必要になることを確認する。 ・先輩職員より仕事の取り組む姿勢 (目標・やりがい) や失敗談等の講義。

	むさしの保育園 保育士 矢部令奈 双葉園 児童指導員 山下 茜 総務部 金子敦子	・今後のスケジュール説明や給与 規程・就業規則等の説明 ・ランチ・ビュッフェ 菅原常務理事、各部長、 各支援系グループ長挨拶 職員と新規採用内定者との 交流の場を設ける。
3月4～5日	新任職員研修（新任採用者及び準ずる者） H27.3.4（水）9：30～16：00 ・ビジネスパーソンとしての意識を持つ ・コミュニケーションとしてマナーの重要性 ・電話対応スキルの基本習得 参加者 64名 H26.3.5（木）9：00～16：00 ・仕事の進め方、報告力を鍛える ・来客対応、訪問マナーの習得 ・ビジネスシーンを想定した実践 参加者 61名 講師（両日） ㈱クレスコ・パートナーズ 内藤 京子 氏（他2名）	・学生からビジネスパーソンへの意識変革を図り、基礎力を徹底習得する。 ・基礎力を定着させ、応用力を身につける。 ・基本的人権として、利用者の権利擁護を理解する。

平成 26 年度 グループ別研修実施状況報告

1 グループ名 高齢者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 26 年 7 月 23 日	新任職員研修(採用 1 年未満) 「フレッシュマンフォローアップ研修」 参加者 23 名 講師 原町ホーム 副主任 河野雄太	入職から約 3 ヶ月を振り返り、個々に実施した「行事企画の課題」や成功体験、失敗談を語り合い、指導的職員・先輩職員と共に課題解決をおこなうことで、同援職員としての意識や絆を深め、更なる成長を促します。
8 月 28 日	「看取り研修」 参加者 30 名 講師 田中康弘氏 増戸ホーム施設長	看取りケアにおける施設職員の役割について学ぶ
11 月 28 日	「介護職員のキャリアデザイン」 参加者 15 名 外部講師 栗原知女	介護現場で働く目標を見つけ、キャリアアップの方法を個々に探り、モチベーションの維持・向上に繋げる。
10 月 1 日 ～ 12 月 21 日	「介護職員初任者研修」 参加者 10 名 研修カリキュラム【合計 130 時間】	介護職員養成
	【講義】 1 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護 (2) 自立に向けた介護 3 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	

	(2) 介護職の職業倫理 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント (4) 介護職の安全 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度 (2) 障害者総合支援制度及びその他制度 (3) 医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション (2) 介護におけるチームのコミュニケーション 6 老化の理解 (1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常 (2) 高齢者と健康 7 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (4) 家族への支援 8 障害の理解 (1) 障害の基礎的理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識 (3) 家族の心理、かかり支援の理解 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ア 基本知識の学習 (1) 介護の基本的な考え方 (2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 イ 生活支援技術の講義・演習 (4) 生活と家事	
--	--	--

	(5) 快適な居住環境整備と介護 (6) 整容に関連したところとからだのしくみ と自立に向けた介護 (7) 移動・移乗に関連したところとからだの しくみと自立に向けた介護 (8) 食事に関連したところとからだのしくみ と自立に向けた介護 (9) 入浴、清潔保持に関連したところとから だのしくみと自立に向けた介護 (10) 排泄に関連したところとからだのしくみ と自立に向けた介護 (11) 睡眠に関したところとからだのしくみと 自立に向けた介護 (12) 死にゆく人に関したところとからだのし くみと終末期介護 ウ 生活支援技術演習 (13) 介護過程の基礎的理解 (14) 総合生活支援技術演習 10 振り返り (1) 振り返り (2) 就業への備えと研修修了後における継続 的な研修 【実習】 1. 介護実習 2. ホームヘルプサービス同行訪問 3. 在宅サービス提供現場見学 【講師】 池田清彦 魚津亮太 佐々木秋代 伊藤千元 河野雄太 橋本孝子 浅見文隆 浅見友博 小金沢康哲 大塚千尋 伊藤華恵 小林あゆみ 神田祐一	
--	---	--

平成 27 年 3 月 2 日	「この一年を振り返って」フレッシュマン発表 「フレッシュマンへ贈る言葉」先輩職員より 「ストレスマネジメント」他 参加者 23 名	入職してからを振り返って、成功体験・失敗談を含め自身の体験を通して得た成果や気付きについて語り合い、他の参加者の話の中から共感する部分や新たな発想を見だし、明日からの「しごと」に活かす。
26 年 10 月 ～ 27 年 3 月	施設間交換研修 参加者 5 名	コア人材育成の育成
平成 27 年 3 月 7 日	地域包括ケアに関する講演会 参加者 30 名 講師 3 名	自助・公助・互助・共助について考える。

2 グループ名 障害者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 26 年 6 月 7 日	新任職員研修 3 回連続講座 「基本的ビジネスマナーを身につける 講師 小原智恵美 氏 H26.6.7（土）9：30～16：00 自己の印象管理と基本マナーを学ぶ。 （現状把握と課題設定・基本五原則の理解） 参加者 16 名	・障害グループの新任職員に対して、基本的なビジネスマナーを習得させ、接遇の向上を目指す。また、安定した人材確保と支援の向上を図る。
7 月 5 日	H26.7.5（土）9：30～16：00 電話対応・訪問・対応の基本、及びコミュニケーションサイクルと交流分析を学ぶ。 参加者 14 名	
8 月 9 日	H26.8.9（土）9：30～16：30 クレーム対応と仕事の進め方と報告の仕方を学ぶ	

	参加者 15 名 参加者 延べ 45 名	
10 月 3 月	障害グループの施設見学と事業理解 H26. 10. 3 (金) 9:00~17:30 各施設を見学し、グループの事業を理解する。また、着任半年の振り返りを行い、虐待防止チェックリストによる支援の検証を行う。 参加者 12 名	・新任職員が各施設の事業を理解し、法人への帰属意識を育成する。
11 月 14 日	福祉サービス研究発表 「企業との連携による清掃作業の有用性を探る」 発表者 小茂根福祉園	・今後の就労継続支援事業の作業モデルの方向性を探る。
6 月 26 日 7 月 3 日	施設内研修（介護技術講習会）への人事交流 施設主催の介護講座に他施設職員も参加し、介護技術を習得する	・研修の機会を有効活用し、支援スキルの向上を図る。
5 月 9 日	人事考課者研修 参加者 第 1 次考課者（副管理者・主任） H26. 5. 9 (金) 14:30~17:30 法人の人事考課制度について学ぶ	法人の人事考課者制度の理解を深め、適正な面接及び考課につなげる。
10 月 28 日	副主任研修 参加者 副主任 H26. 10. 28 (火)15:00~17:15 リーダーに求められる役割と行動特性。	副主任の役割理解と資質の向上を目指す。また、次世代の管理職の育成の機会とする。
12 月 4 日	H26. 12. 4 (木)15:30~17:30 チームアプローチとリーダーの役割 (個人ワーク・グループワーク)	

11月21日	リーダー研修 H26.11.21（金）15:00～17:30 リーダーの位置づけと職場の課題 （グループ討議）	中堅職員として、他施設の現状を理解し、職員間の交流を図る。また、モチベーションの向上と職場定着を図る。
12月22日	H26.12.22（月）15:00～17:30 中堅職員として求められていること （グループ討議）	
平成27年 2月20日	全体職員研修 H27.2.20（金）18:00～20:00 1部 福祉サービス研究発表 小茂根福祉園の研究の再発表 2部 障害者虐待防止とその対応 参加者 86名 講師 地域あんしんセンター 立川 係長 比留間敏郎 氏	障害者虐待の身近な事例を通して、グレーゾーン事例及びその対応の在り方、権利擁護を理解する。

3 グループ名 保育支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成26年 4月12日	H26.4.12（土）9:30～11:30 （保育園職員） 講演 「保育現場のリスクマネジメントを学ぶ」 参加者 122名 講師 ㈱アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	・保育現場でのリスクマネジメントを学び、実践に活かす。 ・職員がリスクに対しての共通理解を持つ。
7月5日	H26.7.5（土）9:30～11:30 講演 「歌う表現を楽しむ」 参加者 114名 講師 東京家政大学保育科長 教授 細田 淳子 氏	・保育をより豊かなものにするために、「わらべうた」、「手あそび」を中心に話を聞き、子どもと関わる楽しさ等保育の原点を再認識する。

11 月 22 日	H26.11.22（土）9：30～11：00 「子ども・子育て支援新制度」 参加者 120 名 講師 淑徳大学 教授 柏女 豊峰 氏	・ 27 年度からの制度開始に向けて、「子ども・子育て支援新制度」について、参加者全員の共通理解を得る。
-----------	--	--

4 グループ名 児童・女性支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 26 年 6 月 25 日	「接遇マナー研修」 参加者 9 名 講師 有賀 雅子 氏	・ 福祉施設職員としての心構え、サービスマナー、対人コミュニケーションスキルを学び、相手の立場に立った生きた接遇を身に着け、利用者サービスの向上につなげる。
9 月 11 日	「主任・副主任研修」 参加者 9 名 講師 (株)ヒューマンフロンティア 小山 雅子 氏	・ 各施設の課題を共有するとともに共通課題について論議し解決策を探る。
9 月 25 日 12 月 11 日	「支援力向上研修」 参加者 9 月 25 日 10 名 12 月 11 日 8 名 講師 あさくさばしファミリーカウンセリングルーム 室長 野口 洋一 氏	・ 相談支援における見立てを学び、利用者の見立てを作る要点を、対応困難事例で検証する。
4 月～3 月	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 「記録の取り方検討会」 検討委員 12 名 実施回数 14 回 アドバイザー 田園調布学園大学人間福祉学部 社会福祉学科教授 村井 祐一 氏	・ ケース記録等について、その目的・根拠を明確化したマニュアルを作成、27 年 4 月から、これに沿った運用を開始。新記録ソフト導入に向け企画提案型プレゼンを実施

11月～3月	平成26年11月～平成27年3月 「グループ内施設交流研修」(3日間)	・他施設での研修を通して連携している三業種の理解を深めると共に、職員の視野を広げ資質向上を図る。
--------	--	--

(5) 広報委員会

委員 山川 浩一

○工藤 かおる 岡本 勝巳 池田 清彦 飯島 一憲 唐澤 江里子
森 浩美 福田 恭子 長谷部 重行 金子 敦子

同援通信編集委員 濱野 亜希子 縣 聡史 前田 千紗子 清水 敦子

平成26年度広報委員会開催記録

月 日	会議名	内 容	場 所
4月21日(月)	第1回広報委員会	平成26年度活動予定 同援だより盛夏号(173号) について	原町ホーム
5月14日(水)	第1回通信委員会	同援通信19号について 新任職員アンケート	原町複合施設
6月2日(月)	第2回広報委員会	同援だより盛夏号校正	事業局
6月10日(火)	第3回広報委員会	同援だより盛夏号校正	事業局
6月17日(火)	第4回広報委員会	同援だより盛夏号校正	事業局
9月5日(金)	第2回通信委員会	同援通信20号 永年勤続者取材について	事業局
10月2日(木)	第5回広報委員会	同援資料の整理について	ライトホーム
10月22日(水)	第3回通信委員会	同援通信20号校正	原町ホーム
10月31日(金)	第6回広報委員会	同援だより新春号(174号) について	原町ホーム
11月10日(月)	第4回通信委員会	同援通信20号校正	むさしの保育園
12月2日(火)	第5回通信委員会	同援通信21号 グループホーム取材について	小茂根福祉園
12月19日(金)	第7回広報委員会	同援だより新春号校正	事業局

1月9日（金）	第8回広報委員会	同援だより新春号校正	事業局
2月17日（火）	第6回通信委員会	同援通信 21号校正 同援通信 22号について 新任職員アンケートについて	原町ホーム
3月3日（火）	第7回通信委員会	同援通信 21号校正	原町ホーム

同援通信取材実施記録

月 日	内 容	場 所	担当者
9月11日（木）	永年勤続者取材	榎町高齢者総合相談センター	前田
9月17日（水）	永年勤続者取材	さくらんぼ	濱野
9月17日（水）	永年勤続者取材	昭和郷保育園	清水
9月30日（火）	永年勤続者取材	サンライズ青山	縣
12月19日（金）	グループホーム取材	かえで	前田
1月7日（木）	グループホーム取材	夢オハナ	濱野、前田、清水
1月10日（土）	グループホーム取材	高嶋の家	縣、清水

同援だよりの発行 盛夏号（173号） 平成26年7月15日
 新春号（174号） 平成27年1月15日
 同援通信の発行 19号 平成26年5月31日
 20号 平成26年11月30日
 21号 平成27年3月15日

（7）人事考課評価委員会

委 員：○菅原 眞廣 中島 昭
 神田 祐一 水谷 貞子 林 美枝 池田 康子

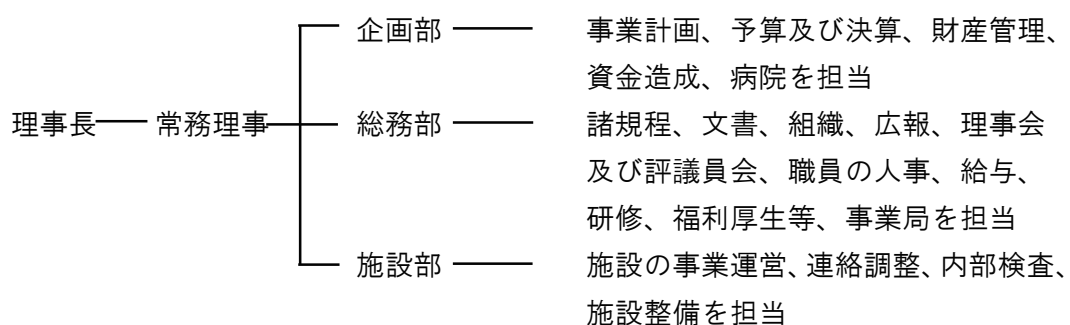
職員人事考課規程第9条に基づく職員からの異議の申出に基づき開催しました。

※ ○印は委員長

六 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図るため、企画部・総務部・施設部の三部制により業務を行いました。

1 組織



2 事業計画・予算等の総括

平成 25 年度事業報告、決算等の原案、平成 26 年度事業計画、予算及び補正予算の原案等を取りまとめ、評議員会及び理事会に提案し、承認を得ました。

3 指導検査・法人内部検査

ア 東京都による指導検査

東京都による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われました。指導を受けた項目については、速やかに改善いたしました。

昭 島 荘	6 月 5 日	夢 オ ハ ナ	9 月 12 日
法 人	10 月 16 日	原 町 ホ ー ム	10 月 16 日
サ ン ホ ー ム	10 月 17 日	ラ イ ト ホ ー ム	10 月 22 日
フ ジ ホ ー ム	10 月 23 日	ニューフジホーム	10 月 24 日

イ 法人内部検査

経理規程及び内部検査実施要綱に基づき、事務局職員による内部検査を下記のとおり実施しました。検査員からの指摘事項は速やかに改善しました。

昭 島 荘	5月20日	昭 和 郷 保 育 園	6月10日
サ ン ホ ー ム	6月12日	つつじが丘保育園	6月17日
万 世 敬 老 園	6月19日	同援みどり保育園	6月24日
ラ イ ト ホ ー ム	6月26日	み な と 保 育 園	7月 8日
同援さくら保育園	7月10日	原町ホーム・原町高齢者複合施設	7月17日
立川福祉作業所	7月22日	大 山 保 育 園	7月24日
フ ジ ホ ー ム	7月29日	昭和郷第二保育園	7月31日
ニューフジホーム・かえで	9月 9日	昭 島 病 院	9月11日
双 葉 園	9月16日	さ や ま 園	9月25日
サンライズ武蔵野	10月 7日	事 業 局	10月 9日
い こ い の 家	10月23日	ひ か り 苑	10月28日
サンライズ青山	10月30日	サンライズ万世	11月11日
さいわい福祉センター	11月13日	むさしの保育園	11月18日
小茂根福祉園	11月20日	児童センターぱれっと	11月27日
ゆ た か 苑	12月 9日	さ く ら ん ぼ	12月16日
東村山生活実習所	12月18日		

ウ 監事監査

監事による監査は、法人事務局並びに昭島病院・事業局について月1回定期的に監査が行われ、施設についても下記のとおり実施されました。

指摘を受ける事項は認められませんでした。助言等を運営改善に活かしました。

なお、5月16日に定款第26条の定めにより法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査が行われ、監査の結果は適正であると認められました。

利用者預り金関係 6月13日・20日

い こ い の 家	万 世 敬 老 園	フ ジ ホ ー ム
ニューフジホーム	原 町 ホ ー ム	ゆ た か 苑
ひ か り 苑	昭 島 荘	さ や ま 園
さ く ら ん ぼ	アミニティ富士見	レヂオンス巣鴨

施設運営関係

万 世 敬 老 園	6月19日	同援さくら保育園	7月10日
双 葉 園	9月16日	ひ か り 苑	10月28日
むさしの保育園	11月18日	さ く ら ん ぼ	12月16日